

公益財団法人アクロス福岡
経営状況説明書類

経済観光文化局
(令和8年8月)

目 次

第 1 概要

・ 財団の設置経緯	1
・ 設置目的	1
・ 基本財産	1
・ 評議員・役員名簿	2
・ 組織	3

第 2 令和 7 年度事業報告について

・ 事業報告	4
・ 貸借対照表	2 2
・ 正味財産増減計算書	2 4
・ 財産目録	2 9
・ 収支計算書	3 0

第 3 令和 8 年度事業計画について

・ 事業計画	3 3
・ 収支予算書	4 7

第1 概要

1 財団の設置経緯

設立年月日 平成6年8月10日

アクロス福岡の公の施設の管理運営を県から受託するとともに、国際・文化・情報の交流拠点施設としてのアクロス福岡の特性を生かして、福岡県における文化振興並びにそれらに関する情報の提供及び交流を促進するための諸事業を行う財団として設立された。

基本財産は、福岡県と福岡市からの出資によっている。

平成24年4月1日から公益財団法人に移行

2 設置目的

公益財団法人アクロス福岡定款による

第3条 この法人は、国際・文化・情報の交流拠点施設であるアクロス福岡の有する機能を一層高めるよう支援するとともに、総合的な文化・情報の交流ネットワークを推進し、福岡県における文化の振興並びに文化に関する情報の提供及び交流の促進を図り、もって県民の文化の向上と地域社会の活性化に寄与することを目的とする。

第4条 この法人は、前条の目的を達成するため、次の事業を行う。

- (1) 音楽芸術、舞台芸術等の芸術文化の振興に関する事業
- (2) 国際的な学術文化等の交流に関する事業
- (3) 地域文化の振興に関する事業
- (4) 生活、文化、行政、観光等にかかる情報の提供に関する事業
- (5) 福岡県がアクロス福岡内に設置する国際・文化・情報に関するセンターの管理及び運営の受託に関する事業
- (6) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

3 基本財産

3,000千円

[内訳]

福岡県	2,000千円	(66.7%)
福岡市	1,000千円	(33.3%)

4 評議員・役員名簿（令和8年7月1日現在）

評議員 7 名

氏 名	備 考
上 田 哲 子	福岡県副知事
田 中 直 喜	福岡県教育庁副教育長
中 垣 伸 一	（公財）福岡県国際交流センター 専務理事兼事務局長
中 村 英 一	福岡市副市長
樋 口 大 山	NHK福岡放送局長
深 町 朋 子	（大） 福岡女子大学 教授
松 本 恭 子	福岡県商工会議所連合会専務理事

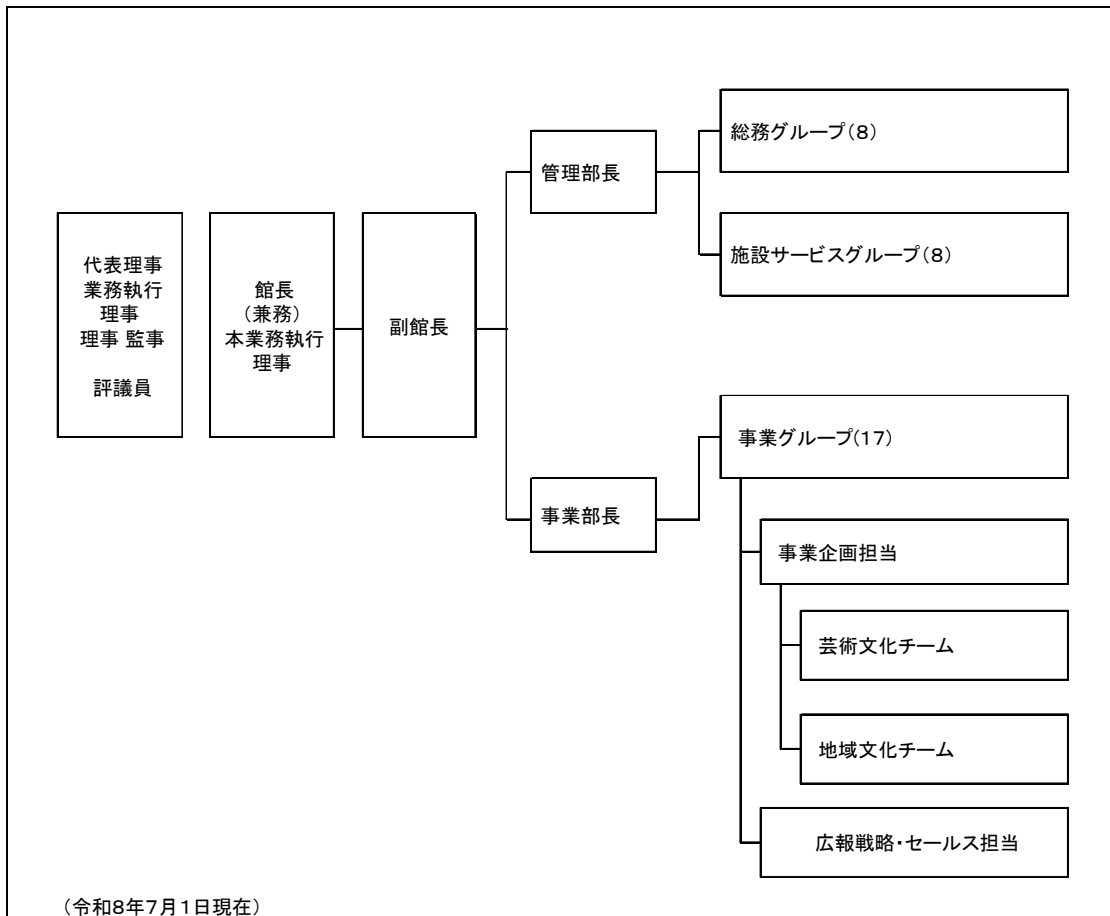
理事 7 名

職 名	氏 名	備 考
代表理事	津 上 賢 治	（学）中村産業学園 特別顧問
業務執行理事	神 代 眞 澄	（公財）アクロス福岡 館長
理 事	市 村 智 子	福岡県市町村・地域振興部 文化局長
〃	宇田川 宣 人	福岡県文化団体連合会 理事長
〃	河 内 美 香	大濠総合法律事務所 弁護士
〃	西 岡 清 紀	（公社）福岡県観光連盟 専務理事
〃	吉 田 宏 幸	福岡市経済観光文化局長

監事 2 名

氏 名	備 考
佐 藤 嘉 洋	福岡県市町村・地域振興部文化局 九博・世界遺産・文化施設課長
清 水 剛	福岡監査法人 代表社員

5 組織



【各グループの所掌事務】

- 総務グループ : 総務及び会計管理に関すること
- 施設サービスグループ : ホール及び会議室等の貸出し、及び付帯サービスに関すること
- 事業グループ : クラシック等の公演提供、自主事業の企画・制作、チケット販売・管理に関すること、情報の収集・提供・相談、広報等に関すること

第2 令和7年度事業報告について

令和7年度アクロス福岡は、4月29日に開館30年を迎えた。これを記念して4月に実施した「福岡シンフォニーホール・オープンステージ」、「アクロス・バースデーコンサート」は、盛況のもとに終了した。加えて、青少年を対象とした様々な事業や、あらゆる人が等しく文化芸術を享受できるための各種事業を実施した。

また、令和7年度は第4期指定管理期間の最終年度にあたり、財団は、これまでの実績をふまえ、令和8年度からの第6次中期経営計画の基本方針に基づく事業計画を福岡県に提案した。

審査の結果、令和8年度から5年間の管理者として指定を受け、引き続きアクロス福岡の指定管理者として、福岡県の文化振興施策の一翼を担っていくこととなった。

施設サービス事業に関しては、天神地区のオフィスビル建て替えに伴うカンファレンス施設の新設や福岡市民ホールの開館等、貸館事業の誘致競争が激化する中、貸館の稼働率は施設ごとの差が生じ、事業環境は依然として厳しい状況が続いている。

I 組織・運営

福岡県文化芸術振興条例の目的の実現に向け組織全体で事業の運営に臨み、また、経費削減や効果的な販売促進により安定した財政基盤の整備を図った。

併せて、令和7年4月の改正公益法人認定法施行を踏まえ、公益財団法人として適切な財団運営のための取組を行った。

さらに、令和8年度からの次期指定管理受託に向け、よりよい提案書を策定するため、組織一丸となって取り組んだ。

1 組織力の充実強化

- 福岡県文化芸術振興条例に沿った事業を、限られた人数で効果的・効率的に実施するため、各部署の役付け職員以上で構成する経営企画会議で議論・検討を行い、財団全体で事業遂行及び計画策定を行った。

2 財政基盤の強化

- 公益目的事業の拡充と中長期的な財政基盤の強化を図るため、公益充実資金等取扱要綱を制定した。
- WEB会議及び研修のオンライン受講を推進し、出張旅費の削減を図った。
- 共同主催者との経費分担により、事業費を削減した。
- チケット販売促進を狙ったWEBメンバーズ向け割引料金の設定や傾向分析に基づくWEB広告の導入など、対象者を絞った効果的な広報を実施した。

3 人材育成の推進

- ・ 人材育成プランに基づいた年間の研修計画を策定し、様々な職務段階に対応する実務的な人材育成に取り組んだ。
- ・ 年度当初、職員全員に対し財団の事業計画・予算を周知する研修を実施し、運営方針の浸透を図った。併せて、服務、財務、情報保護、内部通報制度等の研修を実施し、公益事業に従事するうえで重要な規範意識の醸成を図った。
- ・ 職員のメンタルヘルス向上のため、産業医によるコミュニケーション円滑化のための研修を行った。
- ・ インセンティブを導入した人事評価を実施し、職員の士気高揚を図った。
- ・ すべての職員が必ず年に1度、障がいのある人を対象とした事業の運営に従事し、財団の重点事業である社会包摂事業への職員の理解を深めた。

4 次期指定管理の受託等に向けた取組

- ・ 第6次中期経営計画の骨子が理事会で承認されたのち、骨子に定める5つの基本方針に基づく事業展開について、議論・検討を重ね提案書を作成、理事会の承認を経て福岡県に提案した。
- ・ 県の選定委員会による視察や県所管課のヒアリングに対し、財団が実施している施設サービス事業、文化振興事業や匠ギャラリーにおける伝統・生活文化振興等の取組について説明を行ない、理解を求めた。
- ・ 指定管理者の選定にあたって、選定委員会からは、当財団が、県の文化芸術振興条例や振興計画に基づく事業の実績があり、今後さらに充実させる事業展開が具体的に提案されていること、健全な財務体質であることなどが評価され、12月県議会の議決を経て指定管理者として指定を受けた。

5 公益法人としてのガバナンス強化の取組

- ・ 県へ定期的な報告・相談を行い、運営状況の的確性・透明性の確保を図った。
- ・ 個人情報の適切な管理と職員の意識向上のため職員研修を実施し、漏洩防止策や情報漏洩が発生した場合の対処法等より具体的な手順の周知を図るとともに、危機意識の醸成に努めた。
- ・ 役付け職員向けハラスメント研修を実施し、職員の健康と安全に配慮した職場環境形成に努めた。

II 施設サービス（貸館）事業

イベントホールや大会議室といった主要施設の稼働率は、コロナ禍前の水準まで回復しつつあるが、オフィスビル建替えに伴うカンファレンス施設の新設や福岡市民ホールの開館等、利用目的が重なる施設が新たに開業したことにより貸館事業の誘致競争が激

化している。また、コロナ禍を契機としたWEB会議の普及により、中小会議室の需給バランスも大きく変化している。

このような中、積極的な営業誘致を行ない、稼働率の改善に取り組むとともに、引き続き日常的な防火・防災についての研修・訓練を実施し、防火・防災体制の強化を図った。併せて、「個別施設計画」に基づく計画的な維持・保全に努めた。

1 積極的な営業誘致

- (1) 国際会議や国内学会誘致に向け、福岡観光コンベンションビューローとともに見込み顧客への提案、打合せ、下見同行等頻度を増やして行った。
- (2) 周辺類似施設との情報交換による営業情報収集と会議専門代理店（PCO）への誘致活動を行った。
- (3) 利用を検討している顧客に申込から打合せ・実施に至る流れを施設毎に説明出来る簡易資料の見直しを行った。

〈大型イベントの開催件数〉

誘致内容	令和5年度	令和6年度 (a)	令和7年度 (b)	増 減 (b-a)
学会・国際会議開催件数	15	31	24	-7
合同就職説明会開催日数	31	40	36	-4

※学会・国際会議については会議内容により実施日数が大きく異なるため件数で計上、合同企業説明会は日数で計上

2 利用者サービスの充実強化

- (1) イベントホールの一般照明LED化および音響設備更新を行った。
- (2) イベントホール照明LED化と併せて、イベントホールのロビーとバックヤードのタイルカーペット更新を行った。
- (3) 大会議室の映像機器をより鮮明で明るく見える最新の設備に更新した。また、同時に映像方式を天吊り式プロジェクター及び電動スクリーン仕様に変更した事により、レイアウト変更時の席数確保が出来るようになった。
- (4) イベントホールのトイレ洋式化及び温水便座化を行った。

3 施設機能の充実

- (1) 安全の確保・トラブルの防止を基本とした保守点検を行うとともに、施設の計画的な維持・保全のため、円形ホール舞台機構制御装置の一部更新及びイベントホールの客席扉の一部更新を行った。
- (2) 施設の中長期的な維持・保全を計画的に行うため、令和9年度以降の第二期「個別

施設計画」を福岡県主導のもと策定した。

- (3) 防火・防災対策として、ビル管理会社と共同で火災・地震発生時の初動対応訓練を実施するとともに、小グループ防災研修をはじめとした日常的な防災意識・防災体制の充実強化に向けた取組を行った。
- (4) ビル管理会社が福岡県警の協力をもとに行った防犯研修・防犯訓練に参加した。

Ⅲ 文化振興事業

音楽・舞台芸術を中心とした文化芸術の振興を図るため、「グローバルな感動体験」、「演奏家・聴衆・事業運営者など事業を支える人の育成」及び「あらゆる人が文化芸術に触れる機会の創出」の3つの事業理念を掲げ、バランスのとれた事業展開を行った。

また、令和7年度は、4月29日に「開館30周年記念日」を迎えたことから、周年記念事業の集大成として、「アクロス・バースデーコンサート」などの取組を行った。

さらに、あらゆる人が等しく文化を享受できる機会を創出する社会包摂事業や若い世代を対象とした育成事業にも取り組んだ。

《 3つの理念に基づく事業展開 》 計79事業

○グローバルな感動体験（28事業）

（質の高い音楽・舞台芸術の鑑賞機会の提供）

「NHK交響楽団」、山田和樹指揮「バーミンガム市交響楽団」、「第19回ショパン国際ピアノ・コンクール入賞者ガラ・コンサート」などのオーケストラ公演のほか、「ヨーヨー・マ チェロリサイタル」、「反田恭平ピアノリサイタル with ベルリン・ソロイスト」といった室内楽などを主催・共催で実施した。

○演奏家・聴衆・事業運営者など事業を支える人の育成（29事業）

（次世代を担う若い音楽家とそれを支える人の育成と環境整備）

アクロス国際音楽セミナーや福岡ジュニアオーケストラなどの若手音楽家育成事業、学校キャラバン、ミュージック・キャラバンなどのアウトリーチ事業、ランチタイムコンサートなどを主催・共催で実施した。

○あらゆる人が文化芸術に触れる機会の創出（22事業）

（あらゆる人が等しく文化を享受できる場として機能するため、多様な分野と協働・連携した事業を展開）

クラシック音楽の裾野を拓げるための取組み「アクロス・クラシックふえすた」を開催するほか、知的・発達障がい児向けコンサート「劇場って楽しい!!」、特別支援学校等を対象とした音楽の出前授業「学校キャラバン特別授業」、「音の懸け橋」などを実施した。

また、初の取組として、子ども食堂のイベントとタイアップしたクリスマスコンサートを試行的に実施した。

1 クラシック音楽の裾野を広げるための取組

(1) アクロス・バースデーコンサート

令和7年度は、4月29日に「開館30周年記念日」を迎えることから、令和6年度から行ってきた周年事業の集大成として、「アクロス・バースデーコンサート」を実施した。これは、シンフォニーホールの監修者であり、ベルリン・フィル元コンサートマスターの安永徹氏等が九州交響楽団と共演する豪華コンサートで、無料招待企画として実施し、約1,500名の方が参加した。

また、コンサートに先立ち、4月6日にプレイベントとして実施した「福岡シンフォニーホール・オープンステージ」には、300名の方が参加した。参加者は、世界一流の演奏家が出演した舞台やバックヤードを自由に見学したほか、舞台上での写真撮影やミニコンサートを楽しみ、参加者の満足度の高い取り組みとなった。

(2) アクロス・クラシックふえすた

音楽愛好家はもちろん、今までクラシック音楽と接する機会が少なかった人も、年代を問わず楽しめる音楽イベント「アクロス・クラシックふえすた」を10月4日、5日に実施した。今回で19回目の開催となり、来場者は17,000人を超える盛況となった。

シンフォニーホールを会場とした2つの有料コンサートのほか、国内外で活躍するプロ奏者等による無料の演奏会を2日間で31回実施。クラシック音楽の裾野を広げるため、いつ来場されても、気軽に多彩な演奏を聴ける機会を作った。

また、参加型の企画「バックステージツアー」や「ヴァイオリン体験レッスン」を実施し好評を得た。

その他、音楽大学による入学案内コーナー、楽器メーカー・楽器店による管楽器や弦楽器の展示・販売・試奏体験コーナーや相談コーナーなども設置し、だれでも楽しめる音楽イベントとして、安心・安全に実施することができた。

(3) アウトリーチ事業の充実

県内の文化施設等へ演奏家を派遣する「ミュージック・キャラバン」については、昨年4月に天神に新しく誕生したONE FUKUOKA BLDG.のオープンを記念した開催や旧福岡県公会堂貴賓館でのハロウィン・ナイト・コンサートの開催など計12回（総入場者数：2,919人）実施した。

また、ヴァイオリンやピアノのプロの演奏家を小学校へ派遣する出前授業「学校キャラバン」では、大野城市立下大利小学校など8校（参加生徒数：351人）に派遣するなど、クラシック音楽に身近に触れることのできるアウトリーチ事業を継続して行った。

2 青少年等を対象とした育成事業

(1) アクロス福岡国際音楽セミナー

国際的な活躍を目指す若手演奏家を育成する「アクロス福岡国際音楽セミナー」を

ミュンヘン国際音楽セミナーと提携のもと、7月下旬11日間にわたり実施。19名（ピアノ8名、ヴァイオリン11名）の受講生がトップクラスの講師陣の個人レッスンを受けるとともに、7月26日と8月1日の両日に修了コンサートを行った。あわせて、講師陣による「アフタヌーンコンサート」を7月27日に実施した。

（2）ヴァイオリンセミナー

講師に桐朋学園大学教授・ヴァイオリニスト景山誠治氏を迎え、未来のヴァイオリニストを目指す若者を対象としたセミナーを実施し、7名が受講した。3月15日に開催した1年間の練習成果を発表する「スプリングコンサート」には、約200名の方が来場した。

（3）福岡ジュニアオーケストラ、福岡ジュニアオーケストラアカデミー

県内小学生から高校生の楽器経験者を対象に、62名からなる「福岡ジュニアオーケストラ」を編成し、定期的にレッスンを行った。また、九州のジュニアオーケストラ4団体による「北部九州ジュニアオーケストラ・フェスティバル in 佐世保」（8月10日）への派遣や、韓国・釜山市海雲台区で活動する海雲台ユース・オーケストラ等をゲストに迎えた「サマー・コンサート」（8月4日）、「第6回定期演奏会」（3月22日）など、オーケストラを通じた音楽活動を提供した。

また、楽器未経験の小中学生に基礎的な演奏技術をレクチャーする「福岡ジュニアオーケストラアカデミー」を開催し、24名の小中学生にオーケストラの楽器に触れてもらい、演奏することの楽しさを知る機会を創出した。

（4）舞台芸術感動体験事業

県内の小中学生を対象に福岡シンフォニーホールで九州交響楽団の演奏を体感する「舞台芸術感動体験事業」コンサート（11月19日）を県教育庁と共同で開催した。居住地にかかわらず音楽での感動を経験してもらう趣旨から、遠隔地からの参加校に対しバス代を補助する取組を行い、27校約2,700人が参加した。

（5）青少年等音楽サポート事業

公募により選定した県内14団体（大学、高校）の定期演奏会に共催し、一部経費を助成することにより、福岡シンフォニーホールでの演奏の機会を提供した。

（6）こども無料招待【文化庁 子供文化芸術活動支援事業】

子どもたちに本格的な舞台公演に触れる機会を提供する取組として、文化庁の補助金を活用し、18歳以下の子どもたちを2公演に無料招待した。

- ・東京六人組（1月12日開催）：270名
- ・NHK交響楽団 特別演奏会（2月23日開催）：400名

3 舞台芸術を支える人材の育成

県内公立施設の職員等を対象として、文化芸術事業に関する意識と企画力・実践力を高めるための研修「文化芸術イノベーションアカデミー」を年4回、アクロス福岡で

実施し、文化芸術活動にかかわる専門的人材の育成と人材のネットワークづくりを推進した。

研修では、全国の文化施設等において先進的な取組を行う団体から講師を迎え、講義や分科会等における参加者のディスカッション形式の研修を行い、26自治体から延べ214人が参加。年間を通して3回以上受講した43名に修了証を交付した。

4 音楽を通した社会包摂への取組

(1) 学校キャラバン特別授業、音の懸け橋

特別支援学級・学校を対象に、プロのパーカッション奏者やダンサーを派遣する音楽の出前授業を計14回実施した。

- ・ 学校キャラバン特別授業：福岡市以外の県内対象事業 10回実施
- ・ 音の懸け橋：福岡市内対象事業 4回実施

(2) 劇場って楽しい！！

知的・発達障がい児を対象として、音楽を楽しみながらコンサートを体験することを通して、音の大きさや響き、照明の明暗、鑑賞者としてのルールなどを学ぶ、劇場体験プログラム「劇場って楽しい！！2025」を8月2日、午前・午後の2部構成で開催し、計約550人が参加した。

事業実施にあたっては、社会包摂事業実施を目的として立ち上げた「芸術×福祉 九州ネットワーク会議」を通じて、企画から事前研修、当日の運営までを、県内外のホールと協働で実施し、アクロス福岡の持つ知見や運営ノウハウを共有した。

また、本事業において、アクロス福岡と県内市町村が連携した初の取組として、11月29日に「劇場って楽しい！！2025 in 大刀洗」を開催した。町職員も企画運営に携わり、知的・発達障がい児と家族や介護スタッフなど126の方が参加した。

(3) 子ども食堂イベントとのタイアップ

日頃から子ども食堂を運営しているNPO法人や子ども食堂を支援している団体などが中心となり、「子どもたちに一流の食文化や文化芸術のプレゼントを」という趣旨のもと構成された「福岡クリスマスフェス2025実行委員会」に参画し、新たに「みんなのクリスマスコンサート（12月9日）」をイベントホールで主催した。当日は、300名を超える方が参加した。

5 各種団体との連携強化

地元のオーケストラ九州交響楽団との共同による「マタニティコンサート」実施、公立文化施設間で社会包摂事業の研修連携を図る「芸術×福祉 九州ネットワーク会議」との「劇場って楽しい！！」実施のほか、九州のホール間連携を図る「九州類似ホール連絡会議」や、全国の類似ホールとの情報共有を目的とする「コンサートホール企画連絡会議」に参加し、企画の提案や課題共有に努めた。

また、福岡県が日田彦山線沿線エリアで実施するアーティスト・イン・レジデンス事業との連携により、その成果を披露する「未来につなぐコンサート（３月３１日）」をランチタイムコンサート特別編として開催し、約 700 人が来場した。

IV 情報提供事業

伝統工芸の振興に取り組む地域・伝統文化活動団体に対して発表の場を提供し、活動の支援と交流の促進を図るとともに、県民が文化芸術を鑑賞し体験する機会を創出した。

また、文化芸術団体、文化施設、まちづくり団体及び観光分野等地域との連携による伝統工芸や地域文化、県内各地域の魅力の発信を通じ、にぎわいづくりと地域振興に努めた。

さらには、障がいのある人に対し、文化芸術の鑑賞や創造の機会、作品等を発表する場を提供し、活動を支援した。

1 伝統工芸品の普及と地域文化・生活文化の推進

(1) 匠ギャラリーの活性化

- ・ 国、県指定工芸品の常設展示、歴史や作業工程を紹介する「ひもとき展示」のほか、1 階「ギャラリー 1」では、工芸作家による週替わりの企画展を年 5 1 回開催した。また、併設するカフェやショップでは、地域の食と文化を発信するとともに、県産品等の販売を行い、販路拡大を支援した。
- ・ 2 階「ギャラリー 2」では、工芸作家が気軽に作品を展示販売できる「FUKUOKA KOUGEI 50」を通年で実施した。
- ・ 福岡県が実施する「伝統的工芸品展」と連携し、10 月 27 日から 8 日間「スゴすぎ超匠市」を開催。県知事指定の特産民工芸品の展示販売やパネルによる紹介のほか、週末には、2 階「ギャラリー 2」で、福岡を産地とする道具を使った茶室空間の創出やその空間での呈茶体験、工芸品の制作体験を実施した。また、周遊企画として、「伝統的工芸品展」とのスタンプラリー、「博多伝統職の会」とのクイズラリーを実施することにより、多くの方の来場につながった。来場者数 18,224 人。
- ・ 「匠ギャラリー」リニューアル 3 周年記念「HAPPY CRAFT DAYS！」（3 月 20 日～31 日開催）では、福岡各地からセレクトした工芸品の展示販売や、週末毎に計 10 種類の制作体験を行うとともに、目玉商品として、県知事指定工芸品、津屋崎人形の「ごん太」と「鼠小僧」を、3 周年記念限定としてロットナンバー入りの各 30 色、30 体を販売した。初日の来場者は 1 周年記念の際の 2 倍の 2,000 人超、12 日間で 16,314 人が来場する人気企画展となった。
- ・ 「匠ギャラリー」への誘客を図るため、福岡県観光連盟と連携し、県の観光情報サイト「クロスロードふくおか」で「匠ギャラリー」を紹介した。

(2) インバウンドを見据えた伝統工芸品と地域文化・生活文化の魅力発信

- ・ 近隣宿泊施設や観光案内所等に外国語パンフレットを配架・設置した。
- ・ 「匠ギャラリー」内の一部ショップにおいて、外国人観光客等が一定額以上の商品を購入する際、消費税を免除する免税対応を開始した。ショップでの外国人購入割合は14.2%であった。(令和6年度は12.4%)
- ・ 九州観光機構との連携により、「匠ギャラリー」を取材してもらい、機構 Instagram や Facebook において多言語での発信を行った。

(3) 次世代への継承

- ・ 小学校の社会科見学(1校、160人)を受け入れ、伝統的工芸品の常設展示や「ひもとき展示」により、工芸品の産地や歴史について説明を行なった。
- ・ 子どもをターゲットとした「夏休み手作り体験」では、博多人形絵付け体験、小石原焼ろくろ体験など、工芸作家の指導による制作体験を実施した。制作体験会場の一つとして、「ギャラリー2」での大川組子等の木工制作体験を加えるなど工夫したことにより、期間中の2日間で15,000人を超える来場者となり、多くの親子連れに工芸品の歴史や魅力を知ってもらうきっかけとなった。

2 文化・情報の交流拠点づくり

(1) 多様な主体と連携した情報の発信

- ・ イベント情報発信サイト「アクロスおでかけナビ」を運営した。
- ・ 県内の自治体と協働し、コミュニケーションエリアで、地域の文化や観光資源等を紹介するパネル展を54回開催した。

(2) あらゆる人が文化を享受できる環境整備

- ・ 障がいのある人の文化芸術活動を支援するため、FACT(福岡県障がい者文化芸術活動支援センター)と協働し、「みんなのアート展」を開催した。令和7年度は「模様」をテーマに公募した、障がいのある人が描いた約80枚の絵をメッセージホワイエに展示した。また、エコバックづくりワークショップやアートグッズショップで、県内の障がいのある人のアート活動の紹介や作品の販売を行った。週末には、多種多様な人びとの生き方を題材とした映画鑑賞会と障がいのある人とのパネルディスカッションを行った。(期間中の来場者:約7,097人)
- ・ 令和4年度からの継続事業である里親家族を対象とした「アクロス・子供文化芸術体験」は、初回27名の参加者からスタートし、令和7年度には、88名の参加のもと、コンサートの舞台体験や伝統工芸・アート制作体験ができる機会を創出した。併せて、体験サポートボランティアや学生の事業参画にも取り組んだ結果、福岡県の「令和7年度ふくおか共助社会づくり表彰」の受賞につながった。
- ・ 視覚障がい者と晴眼者が共に伝統工芸品や制作に使用する道具等の特徴を会話しながら知る・感じる「工芸品に『ふれてみる』鑑賞・制作体験会」ワークショップを実

施。ワークショップでは、大川組子の制作を参加者10名で行った。晴眼者は視覚障がい疑似体験として視野を狭める博多張子のお面をかぶりながら制作するなど、障がいの有無に関わらず工芸品に接することについて考える機会をつくった。

- ・ メッセージホワイエ等を活用し、文化活動者に作品発表の場を提供し、年間52の個人・団体が発表を行った。

3 にぎわいづくりと地域振興・観光振興

(1) 文化と伝統を生かしたにぎわいのまちづくり

「お正月わくわく工芸体験」（1月9日、10日の2日間開催）では、飯塚市の獅子舞演武を円形ホールで1日2回公演を実施し、各公演ともほぼ満席となった。また、匠ギャラリーや交流ギャラリーでは、干支にちなんだ「八朔の馬」の制作体験や馬の博多人形絵付け体験を実施したほか、大人向けの企画として、芦屋釜の古印づくり体験を行った。2日間を通して、10,463人が来場した。

(2) 観光案内所の魅力向上

県内外の自治体や民間企業等が観光資源を活用して実施するイベント情報や旬の観光情報に関するチラシ・リーフレットを2階コミュニケーションエリアで情報提供した。

4 効果的な広報の実施

(1) 開館30周年特別広報

特別広報の第1弾として、「アクロス・バースデーコンサート」の音源を収録し、お客さまの記念写真をレコードジャケットにあしらった「30周年記念特別企画・特製LPレコード」を限定30人にプレゼントする企画を実施した。併せてWEBメンバーズやInstagramのフォロワーを対象としたLPレコードプレゼント企画を実施することにより、WEBメンバーズやフォロワー数の拡大に努めるなど、特別広報を通じて、アクロスファンにつながる広報活動に努めた。

さらに第2弾では、福岡シンフォニーホールの舞台にあがり、普段見ることのできない舞台裏などを見学できる「福岡シンフォニーホール・オープンステージ」を4月6日に初開催（300名無料招待）し、お客さま参加型の広報活動に努めた。

(2) 効果的な広報の実施

- ・ WEBメンバーズへのメルマガを定期的に配信（月2～3回）。メルマガでは、チケット発売や公演情報はもとより、公演前のリハーサル動画や出演者メッセージなど販売促進につながるタイムリーな情報を発信し、集客につながる広報を積極的に展開した。その結果、HP訪問件数が前年度比約104%、約132万件となった。

（令和7年度 HP訪問件数 1,323,840件）

- ・ WEBメンバーズ拡大キャンペーンとして、ザ・シックスティーン（11月24日

開催)の公演で、WEBメンバーズ限定割引価格を実施した。こうした取組の効果により、WEBメンバーズが前年度比約132%、約8,800人の増加となった。

(令和8年3月末現在 WEBメンバーズ 36,116人)

- ・ マスコミへの個別プロモーションを行い、開館30周年のTV取材を誘致し放映につなげたほか、新聞社のこども記者の取材で、福岡ジュニアオーケストラの紹介記事の掲載を獲得するなど、マスコミとの関係強化に努めた。
- ・ プレスリリースについては、イベント毎のターゲットを明確化したWEBリリース配信を実施した。

(3) ホームページ内 特設ページ「アクロスラボ」の開設

アクロス福岡が実施する文化芸術を通じた社会包摂事業や育成事業等の取組をより多くの人に知ってもらい、その取組に共感いただくことを目的に、特設ページ「アクロスラボ」を開設した。「アクロスラボ」は、「社会包摂」「次世代育成」「文化芸術の振興とファン拡大」という3つのテーマを軸に、取組の趣旨や概要、携わった方々や参加者の声を紹介した。

【令和7年度 施設の利用状況】

1 施設の利用状況と利用料金の推移（3年間）

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
全施設稼働率（%）	67.1	66.4	65.6
利用料金収入（百万円）	530	506	524

※ 全施設（福岡シンフォニーホール・イベントホール・国際会議場・大中小会議室・円形ホール・交流ギャラリー・練習室）

2 主な施設の利用状況

（1）福岡シンフォニーホール

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
利用日数（日）	241	236	235
開館日数（日）	336	298	319
稼働率（%）	71.7	79.2	73.7

（2）イベントホール

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
利用日数（日）	222	228	238
開館日数（日）	323	328	299
稼働率（%）	68.7	69.5	79.6

（3）国際会議場

	令和5年度	令和6年度	令和7年度
利用日数（日）	177	174	173
開館日数（日）	349	342	343
稼働率（%）	50.7	50.9	50.4

※「開館日数」は、休館日（年末年始）と施設の保守点検日等の日を差し引いた日数

【参考】主な施設の稼働率の推移

	年 度	4月	5月	6月	7 月	8 月	9 月
福岡シンフォニーホール	令和 7 年度	79.2%	58.6%	80.0%	58.6%	75.9%	74.1%
	令和 6 年度	79.2%	82.8%	64.0%	68.0%	75.0%	83.3%
	令和 5 年度	53.6%	70.0%	65.5%	78.6%	48.3%	58.6%
イベントホール	令和 7 年度	83.3%	55.6%	91.7%	66.7%	78.9%	82.1%
	令和 6 年度	73.3%	58.6%	65.4%	75.0%	55.6%	64.3%
	令和 5 年度	72.4%	48.3%	73.1%	72.4%	55.6%	70.4%
国際会議場	令和 7 年度	40.0%	25.8%	58.3%	60.0%	41.4%	50.0%
	令和 6 年度	36.7%	25.8%	63.0%	64.3%	31.0%	40.0%
	令和 5 年度	36.7%	38.7%	44.4%	69.0%	41.9%	36.7%

	年 度	10月	11月	12月	1月	2 月	3月	年計
福岡シンフォニーホール	令和 7 年度	80.8%	96.3%	80.8%	47.8%	73.1%	78.6%	73.7%
	令和 6 年度	96.3%	92.6%	88.5%	61.9%	76.0%	75.9%	79.2%
	令和 5 年度	84.6%	92.6%	88.9%	65.4%	66.7%	90.0%	71.7%
イベントホール	令和 7 年度	66.7%	92.9%	69.6%	77.8%	96.0%	93.1%	79.6%
	令和 6 年度	58.6%	71.4%	84.0%	54.2%	81.5%	92.6%	69.5%
	令和 5 年度	56.7%	84.0%	90.9%	28.0%	92.0%	86.2%	68.7%
国際会議場	令和 7 年度	64.5%	69.0%	48.0%	42.3%	63.0%	45.2%	50.4%
	令和 6 年度	60.0%	86.7%	34.6%	48.0%	68.0%	54.8%	50.9%
	令和 5 年度	45.2%	82.1%	50.0%	52.0%	64.3%	51.6%	50.7%

3 福岡シンフォニーホール利用日数と利用内容

利用内容	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度
音楽	1 9 0	1 7 3	1 8 2
舞台公演	8	1 4	5
会議・集会 他	4 3	4 9	4 8
合 計	2 4 1	2 3 6	2 3 5
音楽・舞台公演比率 (%)	8 2 . 2	7 9 . 2	7 9 . 6

【令和7年度 文化振興事業の実施状況】

→主催40事業・共催39事業 【計79事業】実施

※当初予定76事業より3事業増(4増1減)

「福岡県文化賞贈呈式」事業の未実施(他会場で実施したため)

グローバルな感動体験(28事業)

◎は福岡県・福岡市等との実行委員会事業

	公 演 名	実施日	形態	会場	入場者数	備考
オーケストラ	山田和樹指揮 バーミンガム市交響楽団	R7.7.4	主催	福岡シンフォニーホール	1,358 人	共同主催:読売新聞社
	大阪フィルハーモニー交響楽団	R7.7.23	主催	福岡シンフォニーホール	1,570 人	共同主催:大阪フィルハーモニー交響楽団、バナソニック
	オービック・スペシャル・コンサート2025 アクロス・スペシャルセレクション	R7.9.9	主催	福岡シンフォニーホール	1,679 人	演奏:九州交響楽団
	ポーランド国立放送交響楽団	R7.9.24	主催	福岡シンフォニーホール	1,796 人	共同主催:TVQ九州放送
	スペインADDA交響楽団	R7.10.29	主催	福岡シンフォニーホール	1,782 人	共同主催:TVQ九州放送
	第19回ショパン国際ピアノ・コンクール 入賞者ガラコンサート	R8.1.23	主催	福岡シンフォニーホール	1,758 人	共同主催:TVQ九州放送
	NHK交響楽団 特別演奏会	R8.2.23	主催	福岡シンフォニーホール	1,712 人	
	九州管楽合奏団演奏会2025	R7.5.11	共催	福岡シンフォニーホール	885 人	主催:読売新聞社
	ベルリン交響楽団	R7.6.23	共催	福岡シンフォニーホール	1,559 人	主催:TVQ九州放送
	ウィーン・ヨハン・シュトラウス管弦楽団 ニューイヤー コンサート2026	R8.1.9	共催	福岡シンフォニーホール	1,784 人	主催:TVQ九州放送
室内楽	前橋汀子によるヴィヴァルディ「四季」 &珠玉の名曲集	R7.6.16	主催	福岡シンフォニーホール	949 人	主催:西日本新聞社
	ヨーヨー・マ チェロリサイタル	R7.9.17	主催	福岡シンフォニーホール	1,793 人	共同主催:TVQ九州放送
	ザ・シックスティーン	R7.11.24	主催	福岡シンフォニーホール	713 人	
	反田恭平リサイタル with ベルリン・フィルメンバー	R7.12.5	主催	福岡シンフォニーホール	1,748 人	共同主催:TVQ九州放送
	東京六人組	R8.1.12	主催	福岡シンフォニーホール	718 人	
	デビュー50周年記念 千住真理子ヴァイオリン・リサイタル	R7.4.20	共催	福岡シンフォニーホール	1,565 人	主催:九州朝日放送
	ウィーン少年合唱団	R7.5.13	共催	福岡シンフォニーホール	1,215 人	主催:エフエム福岡
	横山幸雄 ピアノ・リサイタル 入魂のショパン	R7.5.31	共催	福岡シンフォニーホール	953 人	主催:エムエフ福岡
	小林愛実 ピアノ・リサイタル	R7.6.1	共催	福岡シンフォニーホール	1,356 人	主催:九州朝日放送
	田中彩子ソプラノ・リサイタル2025	R7.9.27	共催	福岡シンフォニーホール	583 人	主催:九州朝日放送
	ツォトネ・ゼジニゼ ピアノ・リサイタル	R7.11.12	共催	福岡シンフォニーホール	427 人	主催:読売新聞社
	古澤巖×ベルリン・フィルハーモニックストリングス	R7.12.13	共催	福岡シンフォニーホール	1,631 人	主催:RKB毎日放送
	【追加事業】 牛田智大ピアノ・リサイタル	R8.3.12	共催	福岡シンフォニーホール	1,440 人	主催:読売新聞社
	九州交響楽団「第九」	R7.12.21	主催	福岡シンフォニーホール	1,713 人	共同主催:九州交響楽団
	九州交響楽団 ニューイヤーコンサート	R8.1.10	主催	福岡シンフォニーホール	1,793 人	共同主催:九州交響楽団
九州交響楽団との 共同企画	九響定期支援事業	通年	主催	福岡シンフォニーホール	— 人	定期演奏会前日のリハーサル会場を提供
	吹奏楽×オーケストラスペシャルライブ〜航空自衛隊 航空中央音楽隊を迎えて	R7.9.6	共催	福岡シンフォニーホール	1,441 人	主催:九州交響楽団
	九響・オーケストラ for キッズ	R8.3.28	共催	福岡シンフォニーホール	1,531 人	主催:九州交響楽団
				小計	37,452 人	

演奏家・聴衆・事業運営者など事業を支える人の育成(29事業)

公 演 名	実施日	形態	会場	入場者数	備考
舞台芸術感動体験事業	R7.11.19	主催	福岡シンフォニーホール	2,766 人	福岡県教育庁との共同主催 2回公演 ①1,438人 ②1,328人
学校キャラバン事業	通年	主催	県内の小学校	351 人	計8回実施 ヴァイオリン&ピアノ ※支援学校向け「特別授業」は除く
◎ ランチタイムコンサート vol.110 The 4 Players Tokyo	R7.4.14	主催	福岡シンフォニーホール	897 人	弦楽四重奏 ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ
◎ ランチタイムコンサート vol.111 アンサンブル天下統一	R7.6.6	主催	福岡シンフォニーホール	970 人	三人組アンサンブル ヴァイオリン、ヴィオラ、チェロ
◎ ランチタイムコンサート vol.112 フランス音楽のエスプリ	R7.7.9	主催	福岡シンフォニーホール	968 人	オーボエ: 広田智之 チェロ: 田中雅弘 ピアノ: 矢野雄太
◎ ランチタイムコンサート vol.113 古典派×ロマン派 稀代の名作曲家による室内楽	R7.9.1	主催	福岡シンフォニーホール	1,212 人	ヴァイオリン: 篠崎史紀、塩貝みつる ピアノ: 田中美江、徳丸聡子、坂本彩・リサ 他
◎ ランチタイムコンサート vol.114 秋の豊穣イタリア・バロック名曲選	R7.10.16	主催	福岡シンフォニーホール	1,123 人	アンサンブル・バルテノベ
◎ ランチタイムコンサート vol.115 バレンタイン・スペシャルコンサート	R8.2.12	主催	福岡シンフォニーホール	1,006 人	ギター: 徳永真一郎
【追加事業】ランチタイムコンサート特別編 未来につながるコンサート	R8.3.31	主催	福岡シンフォニーホール	670 人	アーティスト・イン・レジデンス【AIR事業】 作曲者: 宮下亮明
◎ ヴァイオリンセミナー	通年	主催	練習室 シンフォニーホール	198 人	受講生7人 ・3月15日スプリングコンサート 191人
アクロス福岡国際音楽セミナー2025	R7.7.22 ～8.1	主催	練習室 シンフォニーホール	1,018 人	・ピアノ(7/22～26)109人(聴講・受講生発表会) ・ヴァイオリン(7/28～8/1)142人(聴講・受講生発表会) ・アフタヌーンコンサート(7/27) 767人
福岡ジュニアオーケストラ事業	通年	主催	練習室 イベントホール シンフォニーホール	1,140 人	団員: 62人 ・8月 4日サマーコンサート 469人 ・3月22日定期演奏会 609人
福岡ジュニアオーケストラアカデミー事業	通年	主催	練習室 イベントホール	— 人	アカデミー員: 24人
ミュージック・キャラバン	通年	主催	県内文化施設	2,919 人	福岡県内公立文化施設等でのアウトリーチ公演 計: 12回
第92回NHK全国学校音楽コンクール 九州・沖縄ブロックコンクール	R7.8.26 ～27	共催	福岡シンフォニーホール	2,503 人	主催: NHK ①小学校9校 ②中学校11校 ③高校7校
◎ 福岡県立城南高等学校吹奏楽部	R7.5.3	共催	福岡シンフォニーホール	1,369 人	青少年等音楽サポート事業①
◎ 福岡教育大学管弦楽団	R7.5.4	共催	福岡シンフォニーホール	365 人	青少年等音楽サポート事業②
◎ 福岡県立筑紫丘高等学校吹奏楽部	R7.5.5	共催	福岡シンフォニーホール	2,000 人	青少年等音楽サポート事業③ ※入場者の入替にて対応
◎ 福岡第一高等学校吹奏楽部 第3回私立学校合同演奏会	R7.5.10	共催	福岡シンフォニーホール	1,900 人	青少年等音楽サポート事業④ ※入場者の入替にて対応
◎ 九大フィルハーモニー・オーケストラ 定期演奏会	R7.6.12	共催	福岡シンフォニーホール	1,331 人	青少年等音楽サポート事業⑤
◎ 中村学園女子高等学校吹奏楽部 定期演奏会	R7.9.13	共催	福岡シンフォニーホール	1,454 人	青少年等音楽サポート事業⑥
◎ 福岡第一高等学校吹奏楽部 定期演奏会	R7.10.31	共催	福岡シンフォニーホール	1,050 人	青少年等音楽サポート事業⑦
◎ 福岡工業大学附属城東高等学校 吹奏楽部定期演奏会	R7.11.15	共催	福岡シンフォニーホール	1,050 人	青少年等音楽サポート事業⑧
◎ 西南学院大学管弦楽団 定期演奏会	R7.12.6	共催	福岡シンフォニーホール	1,150 人	青少年等音楽サポート事業⑨
◎ 福岡大学学術文化部会交響楽団 定期演奏会	R7.12.14	共催	福岡シンフォニーホール	1,470 人	青少年等音楽サポート事業⑩
◎ 福岡大学応援指導部吹奏楽団 記念定期演奏会	R7.12.27	共催	福岡シンフォニーホール	875 人	青少年等音楽サポート事業⑪
◎ 九州大学男声合唱団コールアカデミー 定期演奏会	R8.1.24	共催	福岡シンフォニーホール	926 人	青少年等音楽サポート事業⑫
◎ 福岡県立修猷館高等学校吹奏楽部 定期演奏会	R8.3.26	共催	福岡シンフォニーホール	1,546 人	青少年等音楽サポート事業⑬
◎ 福岡県立春日高等学校吹奏楽部 定期演奏会	R8.3.30	共催	福岡シンフォニーホール	1,390 人	青少年等音楽サポート事業⑭
			小計	35,617 人	

あらゆる人が文化芸術に触れる機会の創出(22事業)

公 演 名	実施日	形態	会場	入場者数	備考
【追加事業】 福岡シンフォニーホール・オープンステージ	R7.4.6	主催	福岡シンフォニーホール	300 人	アクロス開館30周年企画 シンフォニーホールの舞台体験
アクロス・バースデーコンサート	R7.4.29	主催	福岡シンフォニーホールほか	1,476 人	アクロス開館30周年企画 無料招待公演
九響マタニティコンサート	R7.4.20	主催	福岡シンフォニーホールほか	852 人	共同主催：九州交響楽団 ①442人 ②410人
劇場って楽しい！！2025	R7.8.2	主催	イベントホール	547 人	午前の部：275人 午後の部：272人 障がいのある子どもたちを対象とした社会包摂事業
◎ バレエフェスティバル2025	R7.8.3	主催	福岡シンフォニーホール	1,404 人	福岡市バレエ協会による合同公演
◎ アクロス・クラシックふえすた2025	R7.10.4 ～10.5	主催	福岡シンフォニーホール	17,268 人	有料コンサート(シンフォニーホール) ・九州交響楽団シンフォニックポップ 1,575人 ・ふえすたガラコンサート502人
◎ 新・福岡古楽音楽祭2025	R7.10.16 ～19	主催	アクロス福岡(一部 あいりふホール)	8,318 人	新・福岡古楽音楽祭実行委員会
大地の声×天空の響き 声明とカウンターテナーによる祈りの音楽	R7.11.22	主催	福岡シンフォニーホールほか	972 人	地域創造助成：3館連携事業 アクロス福岡、サザンクス筑後、宮崎県立劇場
【追加事業】 みんなのコンサート2025	R7.12.9	主催	イベントホール	330 人	こども食堂イベント「クリスマスフェスタ」事業 福岡クリスマスフェスタ実行委員会との共同事業
学校キャラバン特別授業	通年	主催	特別支援学校等	423 人	10回実施(特別支援学校・学級へ)
◎ 音の懸け橋	通年	主催	特別支援学校	287 人	福岡市文化芸術振興財団との共同実施 4回実施(生の松原2回、東福岡2回)
◎ フルーツフェスティバルin福岡	R7.11.2	共催	福岡シンフォニーホール	1,258 人	主催：日本フルーツフェスティバル in 福岡実行委員会
◎ ミニコん！ききにこん！ あ・ら・かるとコンサート	R7.11.2	共催	円形ホール	150 人	主催：福岡音楽団体連絡会
◎ 福岡県オーケストラ連盟 オーケストラフェスティバル2026	R8.3.21	共催	福岡シンフォニーホール	1,024 人	主催：福岡県オーケストラ連盟
◎ 西区フィルハーモニーオーケストラ 定期演奏会	R7.6.21	共催	福岡シンフォニーホール	1,268 人	福岡県オーケストラ連盟助成事業 (アマチュアオーケストラ活動支援)
◎ 福岡県OBフィルハーモニー・オーケストラ 定期演奏会	R7.7.20	共催	福岡シンフォニーホール	792 人	福岡県オーケストラ連盟助成事業 (アマチュアオーケストラ活動支援)
◎ 福岡市立福岡西陵高校管弦楽部 定期演奏会	R7.8.6	共催	福岡シンフォニーホール	1,511 人	福岡県オーケストラ連盟助成事業 (アマチュアオーケストラ活動支援)
◎ 橘フィルハーモニーオーケストラ 定期演奏会	R7.9.21	共催	福岡シンフォニーホール	1,354 人	福岡県オーケストラ連盟助成事業 (アマチュアオーケストラ活動支援)
◎ 福岡市医師会オーケストラ 定期演奏会	R7.11.9	共催	福岡シンフォニーホール	1,038 人	福岡県オーケストラ連盟助成事業 (アマチュアオーケストラ活動支援)
◎ 福岡市民オーケストラ 定期演奏会	R7.11.23	共催	福岡シンフォニーホール	697 人	福岡県オーケストラ連盟助成事業 (アマチュアオーケストラ活動支援)
◎ 西南学院OBオーケストラ 定期演奏会	R8.2.22	共催	福岡シンフォニーホール	978 人	福岡県オーケストラ連盟助成事業 (アマチュアオーケストラ活動支援)
◎ 管弦楽団 定期演奏会	R8.3.8	共催	福岡シンフォニーホール	747 人	福岡県オーケストラ連盟助成事業 (アマチュアオーケストラ活動支援)
			小計	42,994 人	
			合計	116,063 人	

- | | |
|------------------------------|------------------|
| (1) グローバルな感動体験 | 28事業 (実施予定：27事業) |
| (2) 演奏家・聴衆・事業運営者など事業を支える人の育成 | 29事業 (実施予定：28事業) |
| (3) あらゆる人が文化芸術に触れる機会の創出 | 22事業 (実施予定：21事業) |

合計 79事業

★事業数及び入場者数の推移

	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
事業数	40	49	69	71	86
入場者数(人)	37,730	34,049	77,898	97,552	118,582

【令和7年度 情報提供事業の概要】

区分		事業	内容	件数
伝統工芸品の普及と地域文化・生活文化の推進	匠ギャラリーの活性化	匠ギャラリーの運営	①常設展示(国指定伝統的工芸品及び県指定民工芸品) ②企画展開催 ③カフェ、ショップ運営	通年 51 通年
		匠ギャラリーリニューアル 3周年記念 HAPPY CRAFT DAYS	福岡県内各地からセレクトした工芸品の展示販売や若手人形師と博多織を学ぶ学生とのトークショーやクイズラリー等を実施。	1
	インバウンドを見据えた伝統工芸品と地域文化・生活文化の魅力発信	英語版パンフレットの活用	近隣宿泊施設や観光案内所に匠ギャラリーのパンフレットを設置。	通年
		匠ギャラリー内併設ショップにおける免税対応	外国人旅行客等が一定額以上の商品を購入する際、一部ショップにおいて消費税を免除。	通年
	次世代への継承	夏休み子ども手作り体験	夏休み時期に合わせ、伝統工芸品の職人によるこども向け手作り体験を実施。新たに体験会場に匠ギャラリー2を加えたことで伝統工芸品のPRにもつながった。1階アンドローカルズともコラボおにぎり弁当を販売した。	1
		匠ギャラリー社会科見学	小学校の社会科見学を受け入れ、伝統的工芸品常設展示の説明を実施。	1
		工芸品に『ふれてみる』鑑賞・制作体験会	視覚障がい者と晴眼者が工芸品そのものや道具等を直接触って鑑賞を楽しむ体感型事業を実施。博多張子のお面着用による疑似弱視状態での「大川組子」の制作体験や鑑賞を行った。	通年

文化・情報の交流拠点づくり	多様な主体と連携した情報の発信	おでかけナビ	自治体と協働し、地域資源を活用したイベントなどを幅広く発信。	通年
		福岡県知事指定特産民工芸品展 スゴすぎ匠市	県知事指定の特産民工芸品の展示販売やワークショップを開催。周遊企画として伝統的工芸品展と博多伝統職の会と連携しスタンプラリーやクイズラリーを実施。	1
		コミュニケーションエリア企画展	地域文化や観光PRの場として週替わりで企画展を開催。	54
	会の創出 あらゆる人が文化に触れ発信できる機会	みんなのアート展	障がいのある人を対象とした公募絵画展やエコバッグ作りワークショップ、映画上映等を開催。	1
		アクロス・子ども文化芸術体験	文化に触れる機会が少ない“親”“子”を対象とした体験型ワークショップを開催。音楽に合わせたライブペイントも実施。	1
		メッセージホワイエ企画展	文化芸術活動に取り組む人々に発表の場を提供。	52
		青少年芸術サポート事業	交流ギャラリーを会場とした福岡県内の学校の文化活動制作発表会の開催助成。	3
	光振興 にぎわいづくりと地域振興・観光	お正月企画 地域文化遊び文化、お正月文化を未来につなぐ！ 「お正月わくわく工芸体験」	飯塚の獅子舞演舞や干支にちなんだ八朔の馬や博多人形の絵付け体験を実施。今回は大人も楽しめる内容として芦屋釜の古印づくりを体験。	1
		インバウンドに向けた観光案内サービス	62言語対応可能なAI翻訳機を活用して、九州・県内の観光情報を提供。	通年

匠ギャラリーリニューアル後来場者数

令和5年度	295, 147人
令和6年度	265, 937人
令和7年度	265, 104人

2 貸借対照表（令和8年3月31日現在）

（1）貸借対照表

（単位：円）

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	296,102,114	219,637,761	76,464,353
未収金	405,478,353	105,204,844	300,273,509
前払金	558,312	255,741	302,571
流動資産合計	702,138,779	325,098,346	377,040,433
2. 固定資産			
（1）基本財産			
定期預金福岡銀行	1,500,000	1,500,000	0
定期預金西日本シティ銀行	1,500,000	1,500,000	0
基本財産合計	3,000,000	3,000,000	0
（2）特定資産			
文化振興造成基金積立資産	555,701,910	555,701,910	0
公益充実資金積立資産	70,000,000	0	70,000,000
施設管理積立資産	0	35,000,000	△35,000,000
基幹システム再構築積立資産	0	30,000,000	△30,000,000
周年事業積立資産	0	16,000,000	△16,000,000
特定資産合計	625,701,910	636,701,910	△11,000,000
固定資産合計	628,701,910	639,701,910	△11,000,000
資産合計	1,330,840,689	964,800,256	366,040,433
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	376,257,105	63,398,364	312,858,741
前受金	122,611,758	115,028,188	7,583,570
預り金	111,039,031	59,412,703	51,626,328
流動負債合計	609,907,894	237,839,255	372,068,639
負債合計	609,907,894	237,839,255	372,068,639
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
寄付金	558,701,910	558,701,910	0
指定正味財産合計	558,701,910	558,701,910	0
（うち基本財産への充当額）	（ 3,000,000 ）	（ 3,000,000 ）	（ 0 ）
（うち特定資産への充当額）	（ 555,701,910 ）	（ 555,701,910 ）	（ 0 ）
2. 一般正味財産			
（うち基本財産への充当額）	（ 0 ）	（ 0 ）	（ 0 ）
（うち特定資産への充当額）	（ 70,000,000 ）	（ 81,000,000 ）	△11,000,000
正味財産合計	720,932,795	726,961,001	△6,028,206
負債及び正味財産合計	1,330,840,689	964,800,256	366,040,433

(2) 貸借対照表内訳表

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計		法人会計	内部取引等消去	合 計
	貸館・文化・情報	貸館事業会計	友の会事業会計			
I 資産の部						
1. 流動資産						
現金預金	113,800,626	101,340,841	0	80,960,647		296,102,114
未収金	41,236,035	2,532,600	0	361,709,718		405,478,353
前払金	70,982	0	0	487,330		558,312
会計間勘定(借)	0	0	0	250,000,000	△250,000,000	
流動資産合計	155,107,643	103,873,441	0	693,157,695	△250,000,000	702,138,779
2. 固定資産						
(1) 基本財産						
定期預金福岡銀行	0	0	0	1,500,000		1,500,000
定期預金西日本シティ銀行	0	0	0	1,500,000		1,500,000
基本財産合計	0	0	0	3,000,000		3,000,000
(2) 特定資産						
文化振興造成基金積立資産	555,701,910	0	0	0		555,701,910
公益充実資金積立資産	70,000,000	0	0	0		70,000,000
特定資産合計	625,701,910	0	0	0		625,701,910
固定資産合計	625,701,910	0	0	3,000,000		628,701,910
資産合計	780,809,553	103,873,441	0	696,157,695	△250,000,000	1,330,840,689
II 負債の部						
1. 流動負債						
未払金	28,258,538	0	0	347,998,567		376,257,105
前受金	71,232,950	51,378,808	0	0		122,611,758
預り金	109,576,770	0	0	1,462,261		111,039,031
会計間勘定(貸)	200,000,000	50,000,000	0	0	△250,000,000	—
流動負債合計	409,068,258	101,378,808	0	349,460,828	△250,000,000	609,907,894
負債合計	409,068,258	101,378,808	0	349,460,828	△250,000,000	609,907,894
III 正味財産の部						
1. 指定正味財産						
寄付金	555,701,910	0	0	3,000,000		558,701,910
指定正味財産合計	555,701,910	0	0	3,000,000		558,701,910
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)	(3,000,000)		(3,000,000)
(うち特定資産への充当額)	(555,701,910)	(0)	(0)	(0)		(555,701,910)
2. 一般正味財産	△183,960,615	2,494,633	0	343,696,867		162,230,885
(うち基本財産への充当額)	(0)	(0)	(0)	(0)		(0)
(うち特定資産への充当額)	(70,000,000)	(0)	(0)	(0)		(70,000,000)
正味財産合計	371,741,295	2,494,633	0	346,696,867		720,932,795
負債及び正味財産合計	780,809,553	103,873,441	0	696,157,695	△250,000,000	1,330,840,689

3 正味財産増減計算書(令和7年4月1日から令和8年3月31日まで)
(1)正味財産増減計算書

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	[8,250]	[60]	[8,190]
基本財産運用益	8,250	60	8,190
特定資産運用益	[2,806,071]	[2,052,504]	[753,567]
文化振興造成基金積立資産受取利息	2,806,071	2,052,504	753,567
事業収益	[1,285,013,351]	[1,074,219,099]	[210,794,252]
施設サービス事業収益	(527,899,199)	(510,794,404)	(17,104,795)
施設利用料金収益	355,436,472	346,360,453	9,076,019
付属設備等利用料金収益	87,010,395	83,563,515	3,446,880
付帯サービス収益	81,316,876	76,691,705	4,625,171
その他事業収益	4,135,456	4,178,731	△ 43,275
文化振興事業収益	(62,895,902)	(63,764,419)	(△ 868,517)
チケット販売収益	27,294,200	38,239,300	△ 10,945,100
運営受託収益	3,650,168	1,650,000	2,000,168
広告料収益	450,000	240,000	210,000
その他事業収益	31,501,534	23,635,119	7,866,415
情報提供事業収益	(3,499,922)	(3,489,966)	(9,956)
その他事業収益	3,499,922	3,489,966	9,956
受託事業収益	(690,718,328)	(496,170,310)	(194,548,018)
指定管理受託収益	686,261,380	496,170,310	190,091,070
その他受託事業収益	4,456,948	0	4,456,948
受取補助金等	[10,030,500]	[14,280,000]	[△ 4,249,500]
受取国庫補助金	10,030,500	14,280,000	△ 4,249,500
受取寄付金	[8,040,000]	[0]	[8,040,000]
受取寄付金	10,000	0	10,000
協賛金収益	8,030,000	0	8,030,000
雑収益	[260]	[7,920]	[△ 7,660]
雑収益	260	7,920	△ 7,660
経常収益計	1,305,898,432	1,090,559,583	215,338,849
(2) 経常費用			
事業費	[1,296,678,422]	[1,036,232,581]	[260,445,841]
施設サービス事業費	(924,366,150)	(688,018,681)	(236,347,469)
給与手当	35,518,102	32,576,018	2,942,084
福利厚生費	6,934,776	6,809,760	125,016
会議費	25,342	38,222	△ 12,880
旅費交通費	208,783	93,058	115,725
交際費	10,201	10,130	71
通信運搬費	1,738,962	1,655,975	82,987
消耗什器備品費	4,665,372	6,209,892	△ 1,544,520
消耗品費	3,847,114	5,705,501	△ 1,858,387
修繕費	387,308,817	146,996,387	240,312,430
印刷製本費	546,297	535,430	10,867
光熱水料費	76,849,082	77,648,721	△ 799,639
賃借料	5,131,275	8,260,777	△ 3,129,502
保険料	580,501	560,112	20,389
諸謝金	1,187,362	1,081,106	106,256
租税公課	16,695,029	18,994,780	△ 2,299,751
支払負担金	33,387,039	31,150,344	2,236,695
什器備品譲渡費	0	10,824,000	△ 10,824,000
委託費	349,489,217	338,769,904	10,719,313
支払手数料	242,879	50,504	192,375
貸倒損失	0	48,060	△ 48,060
文化振興事業費	(289,486,013)	(276,883,801)	(12,602,212)
給与手当	56,357,142	51,688,892	4,668,250
福利厚生費	11,003,529	10,805,164	198,365
会議費	203,162	205,340	△ 2,178
旅費交通費	1,850,715	1,431,962	418,753
交際費	16,194	16,079	115
通信運搬費	1,141,199	1,162,883	△ 21,684
消耗什器備品費	6,544,714	0	6,544,714
消耗品費	4,359,593	2,764,881	1,594,712
印刷製本費	41,603	114,566	△ 72,963
賃借料	2,150,189	7,301,507	△ 5,151,318
保険料	68,562	69,697	△ 1,135
諸謝金	9,143,935	14,594,646	△ 5,450,711

租税公課	2,902,292	3,513,919	△ 611,627
支払負担金	59,369,302	63,378,727	△ 4,009,425
委託費	118,139,495	107,013,285	11,126,210
支払手数料	13,407,345	9,016,253	4,391,092
広告宣伝費	2,787,042	3,680,000	△ 892,958
雑費	0	126,000	△ 126,000
情報提供事業費	(42,885,590)	(37,835,350)	(5,050,240)
給料手当	17,038,204	15,626,873	1,411,331
福利厚生費	3,326,646	3,266,674	59,972
会議費	10,337	18,336	△ 7,999
旅費交通費	55,598	106,958	△ 51,360
交際費	4,893	4,859	34
通信運搬費	424,341	489,503	△ 65,162
消耗什器備品費	1,978,633	0	1,978,633
消耗品費	2,345,171	2,038,033	307,138
印刷製本費	14,563	197,379	△ 182,816
賃借料	655,138	2,240,555	△ 1,585,417
保険料	38,527	13,801	24,726
諸謝金	876,423	1,578,342	△ 701,919
租税公課	166,779	218,201	△ 51,422
支払負担金	656,798	76,102	580,696
委託費	15,036,229	11,711,107	3,325,122
支払手数料	116,510	24,227	92,283
広告宣伝費	140,800	224,400	△ 83,600
広報事業費	(39,940,669)	(33,494,749)	(6,445,920)
給与手当	17,038,204	15,626,873	1,411,331
福利厚生費	3,326,646	3,266,674	59,972
会議費	10,337	18,336	△ 7,999
旅費交通費	30,778	93,718	△ 62,940
交際費	4,893	4,859	34
通信運搬費	188,016	184,974	3,042
消耗什器備品費	1,978,633	0	1,978,633
消耗品費	554,948	286,823	268,125
印刷製本費	46,383	162,284	△ 115,901
賃借料	604,366	1,793,208	△ 1,188,842
諸謝金	569,583	551,612	17,971
支払負担金	65,838	76,102	△ 10,264
委託費	15,095,721	11,163,059	3,932,662
支払手数料	116,510	24,227	92,283
広告宣伝費	309,813	242,000	67,813
管理費	[15,248,216]	[14,877,223]	[370,993]
一般管理費	(9,625,144)	(8,185,684)	(1,439,460)
給料手当	5,111,461	4,688,061	423,400
福利厚生費	997,993	980,001	17,992
会議費	3,100	5,499	△ 2,399
旅費交通費	9,233	10,148	△ 915
交際費	1,467	1,457	10
通信運搬費	56,404	55,492	912
消耗什器備品費	593,590	0	593,590
消耗品費	156,618	81,325	75,293
印刷製本費	3,773	5,501	△ 1,728
賃借料	181,309	537,961	△ 356,652
諸謝金	170,874	155,583	15,291
租税公課	521,700	644,500	△ 122,800
支払負担金	19,751	22,830	△ 3,079
委託費	1,762,919	990,059	772,860
支払手数料	34,952	7,267	27,685
その他施設管理費	(5,623,072)	(6,691,539)	(△ 1,068,467)
消耗什器備品費	53,263	79,223	△ 25,960
消耗品費	16,909	0	16,909
修繕費	474,843	1,661,996	△ 1,187,153
光熱水料費	1,783,384	1,801,941	△ 18,557
支払負担金	767,799	715,049	52,750
委託費	2,526,874	2,433,330	93,544
経常費用計	1,311,926,638	1,051,109,804	260,816,834
当期経常増減額	△ 6,028,206	39,449,779	△ 45,477,985
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0

	当期一般正味財産増減額	△ 6,028,206	39,449,779	△ 45,477,985
	一般正味財産期首残高	168,259,091	128,809,312	39,449,779
	一般正味財産期末残高	162,230,885	168,259,091	△ 6,028,206
Ⅱ	指定正味財産増減の部			
	基本財産運用益	[8,250]	[60]	[8,190]
	基本財産運用益	8,250	60	8,190
	特定資産運用益	[2,806,071]	[2,052,504]	[753,567]
	文化振興造成基金積立資産受取利息	2,806,071	2,052,504	753,567
	一般正味財産への振替額	[2,814,321]	[2,052,564]	[761,757]
	一般正味財産への振替額	2,814,321	2,052,564	761,757
	当期指定正味財産増減額	0	0	0
	指定正味財産期首残高	558,701,910	558,701,910	0
	指定正味財産期末残高	558,701,910	558,701,910	0
Ⅲ	正味財産期末残高	720,932,795	726,961,001	△ 6,028,206

(2)正味財産増減計算書内訳表

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計		収益事業等会計				法人会計	内部取引消去	合 計
	貸館・文化・情報 事業会計	貸館事業会計	友の会事業会計	小 計					
I 一般正味財産増減の部									
1. 経常増減の部									
(1) 経常収益									
基本財産運用益	[0]	[0]	[0]	[0]	[8,250]	[0]	[8,250]		
基本財産運用益	0	0	0	0	8,250	0	8,250		
特定資産運用益	[2,806,071]	[0]	[0]	[0]	0	0	2,806,071		
文化振興造成基金積立資産受取利息	2,806,071	0	0	0	0	0	2,806,071		
事業収益	[854,066,933]	[416,849,325]	[0]	[416,849,325]	[14,505,083]	[407,990]	[1,285,013,351]		
施設サービス事業収益	(292,426,065)	(235,881,124)	(0)	(235,881,124)	(0)	(407,990)	(527,899,199)		
施設利用料金収益	189,049,466	166,635,936	0	166,635,936	0	248,930	355,436,472		
付属設備等利用料金収益	58,610,210	28,435,495	0	28,435,495	0	35,310	87,010,395		
付帯サービス収益	41,930,661	39,509,965	0	39,509,965	0	123,750	81,316,876		
その他事業収益	2,835,728	1,299,728	0	1,299,728	0	0	4,135,456		
文化振興事業収益	(62,895,902)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(62,895,902)		
チケット販売収益	27,294,200	0	0	0	0	0	27,294,200		
運営受託収益	3,650,168	0	0	0	0	0	3,650,168		
広告料収益	450,000	0	0	0	0	0	450,000		
その他事業収益	31,501,534	0	0	0	0	0	31,501,534		
情報提供事業収益	(3,499,922)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(3,499,922)		
その他事業収益	0	0	0	0	0	0	3,499,922		
受託事業収益	(495,245,044)	(180,968,201)	(0)	(180,968,201)	(14,505,083)	(0)	(690,718,328)		
指定管理受託収益	492,049,411	179,800,481	0	179,800,481	14,411,488	0	686,261,380		
その他受託事業収益	3,195,633	1,167,720	0	1,167,720	93,595	0	4,456,948		
受取補助金等	[10,030,500]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[10,030,500]		
受取国庫補助金	10,030,500	0	0	0	0	0	10,030,500		
受取寄付金	[8,040,000]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[8,040,000]		
受取寄付金	10,000	0	0	0	0	0	10,000		
協賛金収益	8,030,000	0	0	0	0	0	8,030,000		
雑収益	[0]	[0]	[0]	[0]	[260]	[0]	[260]		
雑収益	0	0	0	0	260	0	260		
経常収益計	874,943,504	416,849,325	0	416,849,325	14,513,593	407,990	1,305,898,432		
(2) 経常費用									
事業費	[888,738,065]	[407,940,357]	[0]	[407,940,357]	[0]	[0]	[1,296,678,422]		
施設サービス事業費	(516,425,793)	(407,940,357)	(0)	(407,940,357)	(0)	(0)	(924,366,150)		
給与手当	19,659,466	15,858,636	0	15,858,636	0	0	35,518,102		
福利厚生費	3,838,437	3,096,339	0	3,096,339	0	0	6,934,776		
会議費	14,029	11,313	0	11,313	0	0	25,342		
旅費交通費	115,635	93,148	0	93,148	0	0	208,783		
交際費	5,647	4,554	0	4,554	0	0	10,201		
通信運搬費	963,192	775,770	0	775,770	0	0	1,738,962		
消耗什器備品費	2,582,496	2,082,876	0	2,082,876	0	0	4,665,372		
消耗品費	2,130,739	1,716,375	0	1,716,375	0	0	3,847,114		
修繕費	214,568,347	172,740,470	0	172,740,470	0	0	387,308,817		
印刷製本費	302,636	243,661	0	243,661	0	0	546,297		
光熱水料費	42,571,619	34,277,463	0	34,277,463	0	0	76,849,082		
賃借料	2,842,105	2,289,170	0	2,289,170	0	0	5,131,275		
保険料	321,268	259,233	0	259,233	0	0	580,501		
諸謝金	657,212	530,150	0	530,150	0	0	1,187,362		
租税公課	13,616,330	3,078,699	0	3,078,699	0	0	16,695,029		
支払負担金	18,495,160	14,891,879	0	14,891,879	0	0	33,387,039		
委託費	193,607,040	155,882,177	0	155,882,177	0	0	349,489,217		
支払手数料	134,435	108,444	0	108,444	0	0	242,879		
文化振興事業費	(289,486,013)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(289,486,013)		
給与手当	56,357,142	0	0	0	0	0	56,357,142		
福利厚生費	11,003,529	0	0	0	0	0	11,003,529		
会議費	203,162	0	0	0	0	0	203,162		
旅費交通費	1,850,715	0	0	0	0	0	1,850,715		
交際費	16,194	0	0	0	0	0	16,194		
通信運搬費	1,141,199	0	0	0	0	0	1,141,199		
消耗什器備品費	6,544,714	0	0	0	0	0	6,544,714		
消耗品費	4,359,593	0	0	0	0	0	4,359,593		
印刷製本費	41,603	0	0	0	0	0	41,603		
賃借料	2,150,189	0	0	0	0	0	2,150,189		
保険料	68,562	0	0	0	0	0	68,562		
諸謝金	9,143,935	0	0	0	0	0	9,143,935		
租税公課	2,902,292	0	0	0	0	0	2,902,292		
支払負担金	59,369,302	0	0	0	0	0	59,369,302		
委託費	118,139,495	0	0	0	0	0	118,139,495		
支払手数料	13,407,345	0	0	0	0	0	13,407,345		
広告宣伝費	2,787,042	0	0	0	0	0	2,787,042		
情報提供事業費	(42,885,590)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(42,885,590)		
給料手当	17,038,204	0	0	0	0	0	17,038,204		
福利厚生費	3,326,646	0	0	0	0	0	3,326,646		
会議費	10,337	0	0	0	0	0	10,337		
旅費交通費	55,598	0	0	0	0	0	55,598		
交際費	4,893	0	0	0	0	0	4,893		
通信運搬費	424,341	0	0	0	0	0	424,341		
消耗什器備品費	1,978,633	0	0	0	0	0	1,978,633		
消耗品費	2,345,171	0	0	0	0	0	2,345,171		
印刷製本費	14,563	0	0	0	0	0	14,563		
賃借料	655,138	0	0	0	0	0	655,138		
保険料	38,527	0	0	0	0	0	38,527		
諸謝金	876,423	0	0	0	0	0	876,423		
租税公課	166,779	0	0	0	0	0	166,779		
支払負担金	656,798	0	0	0	0	0	656,798		
委託費	15,036,229	0	0	0	0	0	15,036,229		
支払手数料	116,510	0	0	0	0	0	116,510		
広告宣伝費	140,800	0	0	0	0	0	140,800		
広報事業費	(39,940,669)	(0)	(0)	(0)	(0)	(0)	(39,940,669)		
給与手当	17,038,204	0	0	0	0	0	17,038,204		
福利厚生費	3,326,646	0	0	0	0	0	3,326,646		
会議費	10,337	0	0	0	0	0	10,337		
旅費交通費	30,778	0	0	0	0	0	30,778		
交際費	4,893	0	0	0	0	0	4,893		
通信運搬費	188,016	0	0	0	0	0	188,016		
消耗什器備品費	1,978,633	0	0	0	0	0	1,978,633		
消耗品費	554,948	0	0	0	0	0	554,948		
印刷製本費	46,383	0	0	0	0	0	46,383		
賃借料	604,366	0	0	0	0	0	604,366		
諸謝金	569,583	0	0	0	0	0	569,583		
支払負担金	65,838	0	0	0	0	0	65,838		
委託費	15,095,721	0	0	0	0	0	15,095,721		
支払手数料	116,510	0	0	0	0	0	116,510		
広告宣伝費	309,813	0	0	0	0	0	309,813		
管理費	[0]	[0]	[0]	[0]	[15,656,206]	[407,990]	[15,248,216]		
一般管理費	(0)	(0)	(0)	(0)	(10,033,134)	(407,990)	(9,625,144)		
給料手当	0	0	0	0	5,111,461	0	5,111,461		
福利厚生費	0	0	0	0	997,993	0	997,993		
会議費	0	0	0	0	3,100	0	3,100		
旅費交通費	0	0	0	0	9,233	0	9,233		
交際費	0	0	0	0	1,467	0	1,467		
通信運搬費	0	0	0	0	56,404	0	56,404		
消耗什器備品費	0	0	0	0	593,590	0	593,590		
消耗品費	0	0	0	0	156,618	0	156,618		
印刷製本費	0	0	0	0	3,773	0	3,773		
賃借料	0	0	0	0	589,299	407,990	181,309		
諸謝金	0	0	0	0	170,874	0	170,874		
租税公課	0	0	0	0	521,700	0	521,700		
支払負担金	0	0	0	0	19,751	0	19,751		
委託費	0	0	0	0	1,762,919	0	1,762,919		
支払手数料	0	0	0	0	34,952	0	34,952		
その他施設管理費	(0)	(0)	(0)	(0)	(5,623,072)	(0)	(5,623,072)		
消耗什器備品費	0	0	0	0	53,263	0	53,263		
消耗品費	0	0	0	0	16,909	0	16,909		
修繕費	0	0	0	0	474,843	0	474,843		
光熱水料費	0	0	0	0	1,783,384	0	1,783,384		
支払負担金	0	0	0	0	767,799	0	767,799		

委託費	0	0	0	0	2,526,874	0	2,526,874
経常費用計	888,738,065	407,940,357	0	407,940,357	15,656,206	407,990	1,311,926,638
当期経常増減額	△13,794,561	8,908,968	0	8,908,968	△1,142,613	0	△6,028,206
2. 経常外増減の部							
(1) 経常外収益							
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用							
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△13,794,561	8,908,968	0	8,908,968	△1,142,613	0	△6,028,206
他会計振替額	4,454,484	△2,807,259	△6,101,709	△8,908,968	4,454,484	0	0
当期一般正味財産増減額	△9,340,077	6,101,709	△6,101,709	0	3,311,871	0	△6,028,206
一般正味財産期首残高	△174,620,538	△3,607,076	6,101,709	2,494,633	340,384,996	0	168,259,091
一般正味財産期末残高	△183,960,615	2,494,633	0	2,494,633	343,696,867	0	162,230,885
II 指定正味財産増減の部							
基本財産運用益	[0]	[0]	[0]	[0]	[8,250]	[0]	[8,250]
基本財産運用益	0	0	0	0	8,250	0	8,250
特定資産運用益	[2,806,071]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[2,806,071]
文化振興造成基金積立資産受取利息	2,806,071	0	0	0	0	0	2,806,071
一般正味財産への振替額	[2,806,071]	[0]	[0]	[0]	[8,250]	[0]	[2,814,321]
一般正味財産への振替額	2,806,071	0	0	0	8,250	0	2,814,321
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	555,701,910	0	0	0	3,000,000	0	558,701,910
指定正味財産期末残高	555,701,910	0	0	0	3,000,000	0	558,701,910
III 正味財産期末残高	371,741,295	2,494,633	0	2,494,633	346,696,867	0	720,932,795

4 財産目録(令和8年3月31日現在)

(単位:円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金 額
(流動資産)	現金	手元保管	運転資金	513,690
	預金	普通預金福岡銀行	運転資金	141,952,429
		西日本シティ 天神支店	運転資金	153,635,995
	未収金	事業経費・管理経費に対するもの	施設利用者の未受領分等	405,478,353
	前払金	事業経費・管理経費に対するもの	書庫賃借料の前払い分等	558,312
流動資産合計				702,138,779
(固定資産)	基本財産			
	基本財産			
特定資産	定期預金	福岡銀行天神町支店	管理運営用財産	1,500,000
	定期預金	西日本シティ銀行天神支店	管理運営用財産	1,500,000
	文化振興造成基金積立資産			
	普通預金	福岡銀行天神町支店	公益目的保有財産	701,910
	定期預金	福岡銀行天神町支店	公益目的保有財産	127,000,000
	定期預金	西日本シティ銀行天神支店	公益目的保有財産	128,000,000
	投資有価証券	大和証券福岡支店	公益目的保有財産	200,000,000
	投資有価証券	野村證券福岡支店	公益目的保有財産	100,000,000
	公益充実資金積立資産	普通預金福岡銀行	公益目的保有財産	70,000,000
固定資産合計				628,701,910
資産合計				1,330,840,689
(流動負債)	未払金	事業経費・管理経費に対するもの	年間保守費用等	376,257,105
	前受金	事業経費・管理経費に対するもの	施設利用料金等	122,611,758
	預り金			
	職員預り金	管理経費に対するもの	職員の社会保険料等	1,419,575
	実行委員会預り金	事業経費に対するもの	アクロス福岡自主文化共催事業	3,939,600
	共催等チケット受託預り金	事業経費に対するもの	共催公演等のチケット売上の預り金	86,088,900
	チケット受託預り金	事業経費に対するもの	施設利用者主催公演のチケット売上	19,008,400
	その他預り金	事業経費に対するもの	施設利用者の誤入金等	582,556
流動負債合計				609,907,894
負債合計				609,907,894
正味財産				720,932,795

5 収支計算書(令和7年4月1日から令和8年3月31日まで)

(1)収支計算書

按分後
(単位:円)

科 目	当初予算額	補正額	補正後予算額	決算額	差 異
I 事業活動収支の部					
1. 事業活動収入					
①基本財産運用収入	[0]	[8,250]	[8,250]	[8,250]	[0]
基本財産運用収入	0	8,250	8,250	8,250	0
②特定資産運用収入	[2,290,000]	[516,071]	[2,806,071]	[2,806,071]	[0]
文化振興造成基金積立資産利息収入	2,290,000	516,071	2,806,071	2,806,071	0
③事業収入	[963,719,000]	[321,294,351]	[1,285,013,351]	[1,285,013,351]	[0]
施設サービス事業収入	(545,200,000)	(△ 17,300,801)	(527,899,199)	(527,899,199)	(0)
施設利用料金収入	374,793,000	△ 19,356,528	355,436,472	355,436,472	0
付属設備等利用料金収入	85,021,000	1,989,395	87,010,395	87,010,395	0
付帯サービス収入	81,153,000	163,876	81,316,876	81,316,876	0
その他事業収入	4,233,000	△ 97,544	4,135,456	4,135,456	0
文化振興事業収入	(54,918,000)	(7,977,902)	(62,895,902)	(62,895,902)	(0)
チケット販売収入	30,258,000	△ 2,963,800	27,294,200	27,294,200	0
運営受託収入	2,310,000	1,340,168	3,650,168	3,650,168	0
広告料収入	0	450,000	450,000	450,000	0
その他事業収入	22,350,000	9,151,534	31,501,534	31,501,534	0
情報提供事業収入	(3,644,000)	(△ 144,078)	(3,499,922)	(3,499,922)	(0)
広告料収入	240,000	△ 240,000	0	0	0
その他事業収入	3,404,000	95,922	3,499,922	3,499,922	0
受託事業収入	(359,957,000)	(330,761,328)	(690,718,328)	(690,718,328)	(0)
指定管理受託収入	359,957,000	326,304,380	686,261,380	686,261,380	0
その他受託事業収入	0	4,456,948	4,456,948	4,456,948	0
④補助金等収入	[10,129,000]	[△ 98,500]	[10,030,500]	[10,030,500]	[0]
国庫金補助金収入	10,129,000	△ 98,500	10,030,500	10,030,500	0
⑤寄付金収入	[5,500,000]	[2,540,000]	[8,040,000]	[8,040,000]	[0]
寄付金収入	0	10,000	10,000	10,000	0
協賛金収入	5,500,000	2,530,000	8,030,000	8,030,000	0
⑥雑収入	[0]	[260]	[260]	[260]	[0]
雑収入	0	260	260	260	0
事業活動収入計	981,638,000	324,260,432	1,305,898,432	1,305,898,432	0
2. 事業活動支出					
①事業費支出	[999,954,190]	[296,724,232]	[1,296,678,422]	[1,296,678,422]	[0]
施設サービス事業費支出	(596,619,402)	(327,746,748)	(924,366,150)	(924,366,150)	(0)
給料手当支出	44,625,298	△ 9,107,196	35,518,102	35,518,102	0
福利厚生費支出	8,716,174	△ 1,781,398	6,934,776	6,934,776	0
会議費支出	26,287	△ 945	25,342	25,342	0
旅費交通費支出	691,785	△ 483,002	208,783	208,783	0
交際費支出	17,615	△ 7,414	10,201	10,201	0
通信運搬費支出	2,977,654	△ 1,238,692	1,738,962	1,738,962	0
消耗什器備品費	4,712,690	△ 47,318	4,665,372	4,665,372	0
消耗品費支出	431,432	3,415,682	3,847,114	3,847,114	0
修繕費支出	53,280,000	334,028,817	387,308,817	387,308,817	0
印刷製本費支出	1,513,859	△ 967,562	546,297	546,297	0
光熱水料費支出	77,184,668	△ 335,586	76,849,082	76,849,082	0
食糧費支出	27,100	△ 27,100	0	0	0
賃借料支出	5,943,438	△ 812,163	5,131,275	5,131,275	0
保険料支出	557,194	23,307	580,501	580,501	0
諸謝金支出	1,259,337	△ 71,975	1,187,362	1,187,362	0
租税公課支出	15,874,738	820,291	16,695,029	16,695,029	0
負担金支出	32,852,228	534,811	33,387,039	33,387,039	0
委託費支出	345,569,372	3,919,845	349,489,217	349,489,217	0
手数料支出	358,533	△ 115,654	242,879	242,879	0
文化振興事業費支出	(308,277,928)	(△ 18,791,915)	(289,486,013)	(289,486,013)	(0)
給料手当支出	70,807,670	△ 14,450,528	56,357,142	56,357,142	0
福利厚生費支出	13,830,090	△ 2,826,561	11,003,529	11,003,529	0
会議費支出	401,710	△ 198,548	203,162	203,162	0
旅費交通費支出	2,184,050	△ 333,335	1,850,715	1,850,715	0
交際費支出	27,950	△ 11,756	16,194	16,194	0
通信運搬費支出	2,019,820	△ 878,621	1,141,199	1,141,199	0
消耗什器備品費支出	7,477,700	△ 932,986	6,544,714	6,544,714	0
消耗品費支出	3,175,560	1,184,033	4,359,593	4,359,593	0
印刷製本費支出	442,470	△ 400,867	41,603	41,603	0
食糧費支出	123,000	△ 123,000	0	0	0
賃借料支出	3,235,540	△ 1,085,351	2,150,189	2,150,189	0
保険料支出	121,396	△ 52,834	68,562	68,562	0
諸謝金支出	7,013,210	2,130,725	9,143,935	9,143,935	0
租税公課支出	3,464,192	△ 561,900	2,902,292	2,902,292	0
負担金支出	59,745,520	△ 376,218	59,369,302	59,369,302	0
委託費支出	119,966,160	△ 1,826,665	118,139,495	118,139,495	0
手数料支出	11,161,890	2,245,455	13,407,345	13,407,345	0
広告宣伝費支出	3,080,000	△ 292,958	2,787,042	2,787,042	0
情報提供事業費支出	(49,526,920)	(△ 6,641,330)	(42,885,590)	(42,885,590)	(0)
給料手当支出	21,406,970	△ 4,368,766	17,038,204	17,038,204	0
福利厚生費支出	4,181,190	△ 854,544	3,326,646	3,326,646	0
会議費支出	12,610	△ 2,273	10,337	10,337	0
旅費交通費支出	363,550	△ 307,952	55,598	55,598	0
交際費支出	8,450	△ 3,557	4,893	4,893	0
通信運搬費支出	461,620	△ 37,279	424,341	424,341	0
消耗什器備品費支出	2,260,700	△ 282,067	1,978,633	1,978,633	0
消耗品費支出	2,497,960	△ 152,789	2,345,171	2,345,171	0
印刷製本費支出	303,770	△ 289,207	14,563	14,563	0
食糧費支出	13,000	△ 13,000	0	0	0
賃借料支出	735,140	△ 80,002	655,138	655,138	0
保険料支出	3,410	35,117	38,527	38,527	0
諸謝金支出	1,808,110	△ 931,687	876,423	876,423	0
租税公課支出	94,570	72,209	166,779	166,779	0
負担金支出	1,486,320	△ 829,522	656,798	656,798	0
委託費支出	12,581,560	2,454,669	15,036,229	15,036,229	0
手数料支出	177,990	△ 61,480	116,510	116,510	0
広告宣伝費支出	1,130,000	△ 989,200	140,800	140,800	0
広報事業費支出	(45,529,940)	(△ 5,589,271)	(39,940,669)	(39,940,669)	(0)
給料手当支出	21,406,970	△ 4,368,766	17,038,204	17,038,204	0
福利厚生費支出	4,181,190	△ 854,544	3,326,646	3,326,646	0
会議費支出	12,610	△ 2,273	10,337	10,337	0
旅費交通費支出	265,550	△ 234,772	30,778	30,778	0
交際費支出	8,450	△ 3,557	4,893	4,893	0
通信運搬費支出	474,620	△ 286,604	188,016	188,016	0
消耗什器備品費支出	2,260,700	△ 282,067	1,978,633	1,978,633	0
消耗品費支出	356,960	197,988	554,948	554,948	0
印刷製本費支出	283,770	△ 237,387	46,383	46,383	0
食糧費支出	13,000	△ 13,000	0	0	0
賃借料支出	699,140	△ 94,774	604,366	604,366	0
諸謝金支出	714,110	△ 144,527	569,583	569,583	0
負担金支出	86,320	△ 20,482	65,838	65,838	0

委託費支出	13,564,560	1,531,161	15,095,721	15,095,721	0
手数料支出	171,990	△ 55,480	116,510	116,510	0
広告宣伝費支出	1,030,000	△ 720,187	309,813	309,813	0
②管理費支出	[16,662,810]	[△ 1,414,594]	[15,248,216]	[15,248,216]	[0]
一般管理費支出	(10,586,082)	(△ 960,938)	(9,625,144)	(9,625,144)	(0)
給料手当支出	6,422,091	△ 1,310,630	5,111,461	5,111,461	0
福利厚生費支出	1,254,357	△ 256,364	997,993	997,993	0
会議費支出	3,783	△ 683	3,100	3,100	0
旅費交通費支出	13,065	△ 3,832	9,233	9,233	0
交際費支出	2,535	△ 1,068	1,467	1,467	0
通信運搬費支出	65,286	△ 8,882	56,404	56,404	0
消耗什器備品費支出	678,210	△ 84,620	593,590	593,590	0
消耗品費支出	62,088	94,530	156,618	156,618	0
印刷製本費支出	40,131	△ 36,358	3,773	3,773	0
食糧費支出	3,900	△ 3,900	0	0	0
賃借料支出	209,742	△ 28,433	181,309	181,309	0
諸謝金支出	181,233	△ 10,359	170,874	170,874	0
租税公課支出	19,500	502,200	521,700	521,700	0
負担金支出	25,896	△ 6,145	19,751	19,751	0
委託費支出	1,552,668	210,251	1,762,919	1,762,919	0
手数料支出	51,597	△ 16,645	34,952	34,952	0
その他施設管理費支出	(6,076,728)	(△ 453,656)	(5,623,072)	(5,623,072)	(0)
消耗什器備品費支出	0	53,263	53,263	53,263	0
消耗品費支出	0	16,909	16,909	16,909	0
修繕費支出	0	474,843	474,843	474,843	0
光熱水料費支出	2,971,332	△ 1,187,948	1,783,384	1,783,384	0
負担金支出	751,716	16,083	767,799	767,799	0
委託費支出	2,353,680	173,194	2,526,874	2,526,874	0
事業活動支出計	1,016,617,000	295,309,638	1,311,926,638	1,311,926,638	0
事業活動収支差額	△ 34,979,000	28,950,794	△ 6,028,206	△ 6,028,206	0
Ⅱ 投資活動収支の部					
1. 投資活動収入					
特定資産取崩収入	[0]	[81,000,000]	[81,000,000]	[81,000,000]	[0]
施設管理積立資産取崩収入	(0)	(35,000,000)	(35,000,000)	(35,000,000)	(0)
普通預金福岡銀行取崩収入	0	35,000,000	35,000,000	35,000,000	0
基幹システム積立資産取崩収入	(0)	(30,000,000)	(30,000,000)	(30,000,000)	(0)
普通預金福岡銀行取崩収入	0	30,000,000	30,000,000	30,000,000	0
周年事業積立資産取崩収入	(0)	(16,000,000)	(16,000,000)	(16,000,000)	(0)
普通預金福岡銀行取崩収入	0	16,000,000	16,000,000	16,000,000	0
投資活動収入計	0	81,000,000	81,000,000	81,000,000	0
2. 投資活動支出					
特定資産取得支出	[0]	[70,000,000]	[70,000,000]	[70,000,000]	[0]
公益充実資金積立資産取得支出	(0)	(70,000,000)	(70,000,000)	(70,000,000)	(0)
普通預金福岡銀行取得支出	0	70,000,000	70,000,000	70,000,000	0
投資活動支出計	0	70,000,000	70,000,000	70,000,000	0
投資活動収支差額	0	11,000,000	11,000,000	11,000,000	0
Ⅲ 財務活動収支の部					
1. 財務活動収入					
財務活動収入計	0	0	0	0	0
2. 財務活動支出					
財務活動支出計	0	0	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0	0	0
当期収支差額	△ 34,979,000	39,950,794	4,971,794	4,971,794	0
前期繰越収支差額	83,809,312	3,449,779	87,259,091	87,259,091	0
次期繰越収支差額	48,830,312	43,400,573	92,230,885	92,230,885	0

(2)収支計算書に対する注記

1 資金の範囲

資金の範囲には、現金預金、未収金、前払金、未払金、前受金、預り金を含めている。

なお、前期末及び当期末残高は、下記2に記載するとおりである。

2 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内訳

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期末残高
現金預金	219,637,761	296,102,114
未収金	105,204,844	405,478,353
前払金	255,741	558,312
合 計	325,098,346	702,138,779
未払金	63,398,364	376,257,105
前受金	115,028,188	122,611,758
預り金	59,412,703	111,039,031
合 計	237,839,255	609,907,894
次期繰越収支差額	87,259,091	92,230,885

第3 令和8年度事業計画について

令和8年度は、第5期指定管理期間（令和8年度～令和12年度）の初年度にあたる。そして、公益財団法人アクロス福岡（以下「財団」という。）がこれからの5年間に進む方向を示した「第6次中期経営計画」（以下「中期経営計画」という。）の取組がスタートする年となる。財団は、中期経営計画に基づき重点事業や新規・拡充事業に果敢に取り組んでいく。

中期経営計画では「未来につなぐアクロス」をビジョンに掲げるとともに、計画実現に向けた5つの基本方針「文化芸術の振興と県内外への情報発信」、「次代を担う人の育成」、「文化芸術を通じた社会包摂の取組の推進」、「多様な分野との連携による地域活性化への貢献」、「地域の特性を活かした交流拠点づくり」を定めている。このビジョン、基本方針に則した取組を展開し、福岡県の文化芸術の拠点としての活動の場を広げ、文化芸術が持つ力をあらゆる人に届けていく。

一方、公益法人に対する社会の期待を反映し、改正公益法人認定法が令和7年4月から施行された。これを受けて財団では、経営基盤を強化する取組の推進、公益法人に求められるコンプライアンスの遵守、外部に開かれた透明性の高い運営体制の整備などガバナンス強化を図り、社会の信頼に応えていく。

I 組織・運営

組織体制の整備やガバナンスの強化、広聴の推進、効率的な財務運営等の取組により、第6次中期経営計画を推進する財団の経営基盤を確固たるものにする。

1 組織体制の充実強化

- (1) 「福岡県アーツカウンシル（仮称）」設立に向け、県との連携を図りながら実施体制や機能を検討・決定する。あわせて執務室改修、ホームページ整備等を実施する。【新規】
- (2) 中期経営計画の着実な実施のため、経営企画会議で進捗状況を管理し、県をはじめとするステークホルダーへの定期的な報告・情報共有を行う。
- (3) 中期経営計画の目標実現に向け、組織の枠にとらわれず知見を集積し、議論・検討を経て課題解決を目指す、プロジェクトチームの活動を実施する。
- (4) 中長期的な人材育成を見据えた研修を実施し、職務能力の向上及びコンプライアンス遵守を図る。また、職員の社会包摂への理解を一層深めるための研修を実施し、あらゆる人が等しく文化を享受できるための事業に活かしていく。

2 ガバナンスの強化の取組

- (1) 社会包摂の取組について外部アドバイザーの助言を受けて事業成果を評価し、気づきや見直しにつなげる仕組みを整備する。
- (2) 財務・法人運営の観点からリスクを洗い出し、発生防止のための点検を実施する。
- (3) 情報漏洩を防止するため、情報資産の取り扱いに関する規程を整備する。
- (4) ハラスメント発生防止のため、研修を実施する。
- (5) 職員の労働安全衛生推進のため、ストレスチェックを導入する。【新規】

3 広聴の充実

- (1) 事業実施後又は貸館施設利用後のアンケートにより、お客様の満足度や改善点を把握し、速やかな改善につなげる。
- (2) 伝統的工芸品の産地組合等からの意見聴取の機会の設定
国指定伝統的工芸品7産地組合、匠ギャラリー運営事務局等と定期的な意見交換会を実施し、匠ギャラリーの活性化を図る。

4 財政基盤の強化

- (1) 計画的な職員採用や人材派遣等の活用により、人件費総額を適正に保ちつつ、効率的に業務を行う。
- (2) 事務費の削減、WEB会議や配信による研修受講、会議資料のペーパーレス化を推進し、経費節減に努める。
- (3) 施設設備の予防保全、共同主催による事業の実施、ターゲットを明確にした広報・セールス等収益を改善する取組を継続して実施する。
- (4) 公益充実資金等の規程を整備し、当該資金の活用による中長期的視野に立った事業計画立案や迅速な資源配分により、公益目的事業の拡充を図る。【新規】

II 施設サービス（貸館）事業

福岡シンフォニーホールやイベントホールといった主要施設の稼働率は、コロナ禍前の水準まで回復しつつあるが、オフィスビル建替えに伴うカンファレンス施設の新設や福岡市民ホールの開館等により、貸館事業の誘致競争が激化している。また、コロナ禍を契機としたWEB会議の普及により、中小会議室の需給バランスも大きく変化している。

このような中、立地の優位性や施設の特性を活かした提案等を積極的に行い、利用促進に取り組み、交流拠点としての役割を高める。

日常的な防火・防災訓練の実施等による防災管理体制の継続的な充実を図るとともに、引き続き福岡県と密な連携を図り、「個別施設計画」に基づく施設の維持・保全に努める。

1 積極的な営業誘致

コロナ禍前の状況に戻つつある、国際会議や学会、全国大会等のイベントを積極的に誘致する。また、過去の実績等を検証した上で、需要が想定される利用者を対象にした催事誘致を行う。

- (1) 福岡観光コンベンションビューローとの連携による営業活動や下見・見積対応等、より効果的な施設利用方法の提案を行い、国際会議、国内学会や全国大会等の誘致を推進する。
- (2) 周辺類似施設との情報交換による営業情報の収集及び会議専門運営会社（PCO）との連携強化を図る。
- (3) 既存顧客の関連情報、過去の利用状況や他会場での利用実績等を活用し、ターゲットを絞った施設見学会等を開催し、新規・既存顧客に対する催事誘致を推進する。
- (4) 顧客に実際の利用イメージを具体的に伝えるためのパンフレットやホームページ等の見直しを行い、積極的な営業誘致に活用する。
- (5) 周辺類似施設の利用料金や業界動向を調査し、利用料金の変更を検討する。

2 利用者サービスの充実強化・利用しやすさの向上

利用者ニーズを的確にとらえ、施設・設備の更新、新規設備や備品の導入、什器備品の適切な管理等、利便性の向上に努める。

(1) 個別施設計画（中長期修繕計画）に基づいた適切で安全な施設改修や設備更新を図る。

- ・ 福岡シンフォニーホールの舞台吊物制御機器の更新【新規】
- ・ 円形ホールの舞台機構制御機器の一部更新【新規】
- ・ イベントホール他の舞台・照明操作盤（卓）の更新【新規】

(2) 顧客ニーズの高い設備の更新等を検討する。

- ・ イベントホールの映像機器及び緞帳更新
- ・ 円形ホールのピアノ更新

(3) リアルタイムで施設の予約状況が確認できるよう、施設予約システムを改修し、利便性の向上を図る。【新規】

(4) 要望の多い利用承認申請書や請求書等、帳票類の電子化（ペーパーレス化）を行う。
【新規】

3 施設機能の充実

施設の維持管理・補修について、ビル管理会社と連携を図りながら、より安全で快適な空間の提供に取り組む。

あわせて、「安全の確保、トラブルの防止」を基本とした保守点検の遵守、日常的な防災意識・防災体制の充実強化に向けた取組を行う。

- (1) アクロス福岡共同防火・防災管理協議会主催の防災訓練への積極的参加
- (2) 防火・防災について、より具体的な事態を想定した財団独自の研修実施
- (3) 福岡県警の協力を得た防犯研修・防犯訓練の検討
- (4) 「個別施設計画」に基づく施設の維持・保全

Ⅲ 文化振興事業

令和8年度は、中期経営計画に掲げた5つの基本方針を基に、質の高い音楽・舞台芸術の鑑賞機会を提供するほか、障がいのある人を含めあらゆる人が等しく文化を享受できる機会を創出する社会包摂事業を実施する。また、若い世代を対象とした育成事業への取組、文化芸術を通じた交流など、人と人をつなぐ地域の交流拠点として事業を実施していく。

1 音楽・舞台芸術の振興

(1) 質の高いオーケストラや室内楽の公演

「ドレスデン・フィルハーモニー管弦楽団」や「ベルリン・フィルハーモニー・カメラータ室内オーケストラ」など世界的オーケストラ等の公演を実施する。

(2) オペラ・バレエ公演【拡充】

コロナ禍以降実施できていなかった海外歌劇場によるオペラ公演「ハンガリー国立歌劇場『魔笛』」や国内屈指のバレエ団「東京バレエ団『白鳥の湖』」を実施する。

(3) 九州交響楽団との共同事業

「第九」や「ニューイヤーコンサート」を地元のオーケストラ九州交響楽団（以下「九響」という。）と共同で実施するほか、九響定期演奏会前日にリハーサル会場の提供等を行う。

(4) ランチタイムコンサート

一流音楽家による演奏をリーズナブルな価格で提供する。主に平日昼間の需要に対応し、クラシック音楽の初心者から音楽愛好家まで、クラシックを気軽に楽しむことのできる事業を行う。

(5) アマチュア音楽団体の活動支援

アクロス福岡を会場にコンサートを開催する福岡県オーケストラ連盟所属のアマチュア音楽団体や西日本オペラ協会等へ、公演告知の協力や会場費の助成などの活動支援を行う。

2 青少年に音楽体験を提供

(1) 舞台芸術感動体験事業

県内の小中学生がシンフォニーホールでフル・オーケストラコンサートを体感する事業を福岡県教育委員会と連携して行う。

(2) 学校キャラバン事業

県内の小学校を対象に、楽器演奏体験の出前授業を行う。

3 若手芸術家等の育成支援【重点】

(1) ヴァイオリンセミナー

講師に景山誠治氏を迎え、将来プロ演奏家を目指す若者を対象としたセミナーや修了生による「スプリングコンサート」を開催するとともに、修了者のステップアップの場であるアクロス弦楽合奏団の活動を支援する。

(2) アクロス福岡国際音楽セミナー

国際コンクール等を目指す若者を対象に、海外から招聘した講師によるセミナーを実施するとともに、修了コンサートや同講師陣による「アフタヌーンコンサート」を開催する。

(3) 音楽大学等地域の大学等と連携した事業の実施【新規】

新設される福岡国際音楽大学の主催する、青少年を対象としたコンクールと共同し、若手演奏家を九響と共演させる事業を実施する。

(4) 若手演奏家の演奏機会の創出

アウトリーチ事業等への若手演奏家の積極的起用やアーティストバンクの活用などにより、若手演奏家に活動の機会を提供する。

4 青少年を対象とした育成事業

(1) 福岡ジュニアオーケストラ&アカデミー

小学生から高校生まで年齢や学校も異なる多様な子どもたちで構成する福岡ジュニアオーケストラを運営する。あわせて、楽器未経験の子どもたちを対象とする福岡ジュニアオーケストラアカデミーを実施し、楽器を体験する機会を提供する。

(2) 青少年音楽等サポート事業

県内の高校、大学等がシンフォニーホールで実施する公演の会場費を助成することにより、公演活動を支援する。

5 文化芸術を支える人の育成【重点】

(1) 文化芸術イノベーションアカデミー

県内公立文化施設の職員等を対象とした実践型の研修会を開催し、文化芸術事業に関する意識と企画力・実践力を高める。また、参加者間で経験や情報を共有し、ネットワーク構築を支援する。

(2) ミュージック・キャラバン

県内公立文化施設等と連携したアウトリーチ型コンサートを開催することを通じて、施設職員へ事業運営ノウハウを提供する。

(3) 各種団体との連携強化

九響との事業連携のほか、公演事業に対する地場企業・団体の協賛獲得など地域サポート体制の強化に努める。また、県内、九州管内、全国の類似ホールと情報共有を緊密に行い、事業の運営に活かす。

(4) インターンシップ等の受け入れ

九州大学や福岡国際音楽大学など地元大学等から、音楽マネジメントを学ぶ学生をインターンシップとして受け入れる。

6 障がいのある人の文化芸術活動の推進【重点】

(1) 劇場って楽しい！！

知的障がい児・発達障がい児と介護者が共に楽しめる劇場体験プログラム「劇場って楽しい！！」を開催する。また、県内外のホールと協働で社会包摂事業の企画準備等の研修（劇場×福祉 九州ネットワーク会議）を実施するなど、アクロス福岡の持つ知見や運営ノウハウを共有する。

(2) 特別支援学校等を対象とした事業

プロのパーカッション奏者やダンサーを特別支援学校・学級に派遣する参加型の出前授業「学校キャラバン特別授業（県内）」や「音の懸け橋（福岡市内）」を実施する。

(3) 障がいのある人へ届く情報発信

障がいのある人の鑑賞機会やイベント参加のきっかけとなるよう、音声コードを掲載した印刷物の作成など、障がいのある人に配慮した情報発信を行う。

7 あらゆる人が気軽に芸術文化に親しむ機会を提供【重点】

(1) 九響マタニティコンサート

妊娠中の方や子育て中の家族を対象に、胎教に良いとされるクラシック音楽を、配慮されたリラックス環境で堪能できるコンサートを実施する。九響と共同でバリアフリーに対応した運営を行う。

(2) みんなのコンサート【新規】

子ども食堂と連携して、子ども食堂利用者だけでなく、だれでも入場できるファミリーコンサートを実施する。

8 文化芸術を通じた交流の促進

(1) オープンステージ

福岡シンフォニーホールの舞台に上がり、普段見ることのできない舞台裏などを見学できる企画を実施する。

(2) アクロス・ポップス・ウインドオーケストラ

県民から公募したアマチュア演奏者とプロの演奏家とによる県民参加型コンサートを実施する。

IV 情報提供事業

令和8年度は、匠ギャラリーを活用して、国内外の多くの人々に伝統工芸品や地域文化・生活文化を学び体験できる多彩な事業を実施することで、その魅力を発信するとともに販路拡大を支援する。

工芸品の制作者・団体が展示・販売できる場を提供し、活動の支援と交流の促進を図るとともに、県民が文化芸術を鑑賞し体験する機会を創出する。

障がいのある人が、文化芸術を鑑賞・創造できる機会、並びに制作した作品を展示・発表し、様々な人と交流できる場を共に創っていく。

財団が実施する事業を効果的に情報発信し、アクロスファンの拡大を図っていく。

1 伝統工芸品の普及促進と地域文化・生活文化の振興【重点】

(1) 匠ギャラリーからの福岡の魅力発信

- ・ 国、県指定工芸品の常設展示のほか、伝統的工芸品の歴史や作業工程を紹介する「ひもとき展示」や工芸作家の作品を展示・販売・体験する企画展等を開催する。
- ・ 1階では上野焼や小石原焼の器で季節限定メニューを取り入れた食事を提供するとともに、ショップでは福岡県の伝統工芸品を中心に豊富な商品を販売する。
- ・ 1階の週替わり企画展と2階の作品販売スペースを配置替えし、1階を販売フロア、2階を企画展示体験スペースとして機能を強化する。
- ・ 福岡県と連携して福岡の伝統工芸品を紹介する企画展を開催する。

(2) インバウンド観光客に向けた FUKUOKA の伝統工芸・地域文化情報の発信

- ・ インバウンドや県内在住の外国人を対象とした伝統的工芸品の体験型企画展を開催する。また、企画展に関する多言語特設ページの開設、インフルエンサーの活用など情報発信を強化する。【新規】
- ・ 匠ギャラリーのホームページを多言語化する。
- ・ 匠ギャラリーや各種イベントの多言語リーフレットを作成し、近隣宿泊施設や観光案内所等へ配架・設置する。
- ・ 工芸品制作体験キットの英語版説明書を作り、インバウンド観光客への販売を促進する。
- ・ 観光事業者や観光団体が実施するインバウンド向けプロモーションへの協力・連携を推進する。

2 青少年に向けた福岡の伝統工芸・地域文化の魅力発信

- ・ 国指定伝統的工芸品の常設展示や「ひもとき展示」を活用した社会科見学を実施する。

- ・ 夏休み子ども手作り体験やお正月工芸体験等の実施により生活文化体験の機会を提供する。
 - ・ 交流ギャラリー助成金事業を通じて小中高生、特別支援学校、大学、専修大学等の学生の展示発表を支援する。
- 3 障がいのある人の創造・発表・交流の場づくり
- ・ 障がい者支援団体やNPOと連携し、障がいの有無に関わらず、あらゆる人が交流を深めながら、障がいのある人の芸術活動を支援する「みんなのアート展」を開催する。
 - ・ 特別支援学校・学級を対象とした交流ギャラリーでの作品展示を支援する。(再掲事業)
 - ・ 匠ギャラリーで聴覚障がい者を対象とした共同鑑賞事業を実施する。【新規】
- 4 文化と芸術の力を活かしたにぎわいのまちづくり
- ・ 伝統的工芸品の産地組合や県を含む自治体等と連携して、工芸品の魅力を発信する。
 - ・ 観光事業者や観光団体との協力体制の強化やインバウンド向けプロモーションへの協力・連携による伝統的工芸品産地への誘客を推進する。
 - ・ 九州各県と連携し、県内外で開催される文化芸術活動等に関する情報を収集し、一元的に発信することで地域への誘客を促す。
 - ・ コミュニケーションエリアを地域の文化や観光情報を紹介する場として活用する。
- 5 人と人をつなぐ交流拠点づくり
- ・ 匠ギャラリーの企画展では、展示・販売に加え、実演・体験コーナーを設け、参加者が交流しながら工芸品を身近に知ってもらう機会を提供する。
 - ・ メッセージホワイトで文化活動者、県民の文化芸術活動の発表・交流の場を創出する。
- 6 事業を推進し、集客につなげる情報発信
- (1) アクロス福岡HPや公式SNSを活用した情報発信
- アクロス福岡のイベント情報・チケット発売情報等をタイムリーに届けるため、WEBメンバーズ向けメールマガジンを月2〜3回程度配信するとともに、公式SNS (Facebook、X、Instagram) やホームページを活用し、公演やイベントの見どころを動画等できめ細かに発信する。
- (2) マスコミ等メディアを活用した情報発信
- マスコミでの継続的な掲載につなげるため、個別プロモーションやメディアキャラバン等を実施し、マスコミとの関係を強化する。プレスリリースについては、イベント毎のターゲットを明確化し、マスコミ媒体を選別した戦略的なWEB配信を実施する。
- 7 アクロスファンを拡大しブランドイメージの向上につなげる情報発信
- 文化芸術を通じた社会包摂事業や育成事業等の取組を可視化し、アクロス福岡WEBサイト内に新たに設けた特設ページ「アクロスラボ」のコンテンツの充実を図るとともに、公式SNS等の自主コンテンツと連動した周知活動に努める。

【令和8年度 文化振興事業の概要】

→主催事業(79事業)・共催(46事業) 計125事業実施

◎は、福岡県・福岡市等との実行委員会事業(計:41事業)

I 文化芸術の振興と県内外への情報発信(59事業)

	公 演 名	開催時期	形態	内 容
オーケストラ	新日本フィルハーモニー交響楽団	R8.5.29	主催	国内屈指の人気を誇る指揮者・佐渡裕が、ヴァイオリニスト三浦文彰をソリストに迎えての公演。
	ドレスデン・フィルハーモニー管弦楽団	R8.6.9	主催	ドイツ古都の名門オーケストラが7年ぶりの福岡公演。人気筆頭のピアニスト亀井聖矢との協演。ベートーヴェン:ピアノ協奏曲第5番「皇帝」を披露。
	大阪フィルハーモニー交響楽団	R8.8.22	主催	飯森範親の指揮によるオール・ブラームスプログラム。ソリストには新世代のスターヴァイオリン奏者・辻彩奈が登場。
	アクロス弦楽合奏団	R8.8.23	主催	影山誠治氏を中心とした、国内トップクラスの奏者が集うアクロス・オリジナルの弦楽合奏団。第17回定期演奏会。
	ベルリン・フィルハーモニーカメラータ室内オーケストラ	R8.9.23	主催	ベルリン・フィルハーモニーの精鋭たちによるアンサンブル。ピアニスト亀井聖矢を迎え、ベートーヴェン:ピアノ協奏曲第3番を披露。
	ヴェルビエ祝祭室内楽管弦楽団 with 藤田真央	R8.10.13	主催	実力派ピアニスト藤田真央が、オールベートーヴェンプログラムに挑戦。世界トップレベルの音楽家からの薫陶を受けた、若手精鋭たちとの共演。
	NDRエルプフィルハーモニー管弦楽団	R9.2.27	主催	ハンブルクを本拠地とするドイツ名門オーケストラが来日。国内屈指の人気を誇る角野隼斗が、ガーシュウインのピアノ協奏曲を披露。
	反田恭平 & ザルツブルク・モーツァルテウム管弦楽団	R9.3.17	主催	世界トップレベルの実力を誇る反田恭平が、オーストリアの名門オーケストラと、モーツァルトのピアノ協奏曲を披露。
	ジョージ・ハリオノ ピアノ協奏曲 福岡公演	R8.5.2	共催	チャイコフスキー国際コンクール第2位に輝いた若き英国の秀英が、協奏曲だけの特別な演奏会を開催。共演は九州交響楽団。
	九州管楽合奏団定期演奏会2026	R8.5.10	共催	九州で唯一のプロ吹奏楽団が、福岡シンフォニーホールにて定期演奏会を開催。
	イル・ド・フランス国立管弦楽団	R8.7.6	共催	フランス名門オーケストラが初来日公演。WEB配信で絶大な人気のピアニスト・石井琢磨が、グリーグのピアノ協奏曲を披露。
	ロイヤル・フィルハーモニー管弦楽団	R8.9.6	共催	ロイヤルの名を冠する、英国・イングランドの国民的オーケストラ。辻井伸行との共演により、ラフマニノフのピアノ協奏曲を披露。
室内楽・バレエ・オペラ	ウィーン・ヨハン・シュトラウス管弦楽団 ニューイヤーコンサート2027	R9.1.6	共催	ウィンナ・ワルツ本家本元のオーケストラが贈る、新年を祝うニューイヤーコンサート。
	ウィーン八重奏団	R8.4.24	主催	ウィーンフィルのメンバーによる八重奏団公演。モーツァルトやシューベルトの名曲を披露する。
	ハンガリー国立歌劇場「魔笛」	R8.6.22	主催	欧州の名門歌劇場が来日。モーツァルトが最後に残した屈指の傑作人気オペラを上演。
	東京バレエ団「白鳥の湖」(2事業)	R8.7.22 7.23	主催	日本を代表するバレエ団が名作「白鳥の湖」を上演。演奏は九州交響楽団。バレエの魅力を発信する福岡県重点施策事業。
	ファビオ・ビオンディ&エウローパ・ガランテ	R8.11.4	主催	イタリアを代表する古楽アンサンブルが来日。ヴィヴァルディ「四季」全曲演奏。
	反田恭平ピアノ・リサイタル	R8.11.22	主催	絶大な人気を誇る反田恭平、待望のソロ・ピアノリサイタル。(第18回シヨパン国際ピアノコンクール 第2位)

	公 演 名	開催時期	形態	内 容
室内楽・バレエ・オペラ	藤田真央ピアノ・リサイタル【2事業】	R9.1.7 1.8	主催	若手の雄、藤田真央が2夜連続公演に挑む。東京・福岡のみで開催される特別なリサイタル。
	◎ランチタイムコンサート vol.116 野々村綾乃 ソプラノ・リサイタル	R8.5.21	主催	才能溢れる若手ソプラノ歌手、野々村綾乃のリサイタル。ピアノには矢野雄大を起用し、オペラの名曲や日本の童謡などを披露。
	◎ランチタイムコンサート vol.117 ダネル弦楽四重奏団	R8.6.15	主催	札幌コンサートホールとの連携事業。ベルギーの名手たちが集う弦楽カルテット公演。
	◎ランチタイムコンサート vol.118 ウィーン・V. ルジェリウス・ピアノ三重奏団	R8.7.9	主催	ウイナワルツを中心に楽しめる、クラシックの入門公演。演奏はウィーン・フォルクスオーパーで活躍した、ウィーン在住の演奏家・森川氏など。
	◎ランチタイムコンサート vol.119 米沢美佳 & 奈良希愛 デュオ・リサイタル	R8.9.24	主催	ドイツの名門歌劇場「ベルリン・コーミッシュ・オーパー」のコンサートミストレスである米沢美佳と、世界で活躍するピアニスト奈良希愛によるデュオリサイタル。
	◎ランチタイムコンサート vol.120 ドイツ教会音楽の誘い【古楽音楽祭事業】	R8.10.12	主催	新・福岡古楽音楽祭2026の関連コンサートとして、ドイツの教会音楽に焦点をあてた、オール・バッハプログラムを実施。
	◎ランチタイムコンサート vol.121 ARK BRASS	R9.2.8	主催	国内屈指の演奏技術を誇る、若手金管奏者たちが集結。ポップスや映画音楽など、誰でも楽しめるプラスバンド公演。
	HIMARI × 吉田恭子 DUOコンサート	R8.5.23	共催	ベルリン・フィルとの共演で話題となったヴァイオリニストHIMARIが、母である吉田恭子とのデュオコンサートを開催。
	小林愛実 ピアノ・リサイタル	R8.5.31	共催	世界で活躍する小林愛実(第18回ショパン国際ピアノコンクール第4位)によるソロリサイタル。
	ウィーン少年合唱団	R8.6.9	共催	“天使の歌声”の愛称で、世界中の人々から愛され続けるウィーン少年合唱団による来日公演。
	久末航ピアノ・リサイタル2026	R8.6.10	共催	2025年4月の「エリザベート王妃国際音楽コンクール」で見事2位に輝いた久末航の凱旋公演。
	桑原志織 ピアノ・リサイタル	R8.7.1	共催	第19回ショパン国際ピアノコンクールにて日本人最高位。(第4位)オール・ショパンプログラムを披露する。
	宮田大チェロ・リサイタル2026	R8.7.10	共催	国内トップクラスの人気チェリスト・宮田大が、最も信頼するピアニスト、ジュリアン・ジェルネとのデュオリサイタルを実施。
	【トランペットの祭典】 松井秀太郎 ナカリヤコフ、西村大地、児玉隼人	R8.7.30	共催	人気・実力を兼ね備えるトランペッターの競演。
	横山幸雄 4大ピアノ協奏曲の饗宴	R8.9.13	共催	音楽史に燦然と輝くピアノ協奏曲の名曲を、指揮：下野竜也、管弦楽：九州交響楽団にて実施。
	小曽根真クラシック×ジャズ	R8.10.28	共催	世界的ジャズピアニスト小曽根真が、若き天才ピアニスト壺阪健登を迎え「ラプソディ・イン・ブルー」を共演予定。
	田中彩子 × 藤木大地 デュオリサイタル	R8.12.4	共催	人気ソプラノ歌手・田中彩子が、カウンターテナーの藤木大地と共演。世界で活躍する歌手2人の豪華デュオリサイタル。
	古澤巖 × ベルリン・フィルハーモニックストリングス2026	R8.12.12	共催	人気ヴァイオリニスト古澤巖と、世界最高峰のオーケストラ「ベルリン・フィル」の弦楽メンバーが共演。
	角野未来 ピアノ・リサイタル	R9.2.28	共催	若手ピアニストによるソロ・リサイタル公演。兄は人気ピアニストの角野隼斗。

九州交響楽団との共同企画	九州交響楽団「第九」	R8.12.18	主催	年末恒例の九州交響楽団による第九の公演。
	九州交響楽団 ニューイヤーコンサート	R9.1.9	主催	年初め恒例の九州交響楽団によるニューイヤーコンサート。
	九響定期支援事業	通年	主催	本番と同じ環境でリハーサルを実施することができるように、定期演奏会前日にシンフォニーホールを会場として提供する。また、公開可能な場合には公開リハーサルを実施。
	九響アフタヌーンセッションVol.1	R8.8.5	共催	平日昼間のコンサートを開催。N響第1コンサートマスターの郷古康を迎え、ベートーヴェンのヴァイオリン協奏曲を披露。
	九響アフタヌーンセッションVol.2	R9.3.18	共催	平日昼間のコンサートを開催。ピアニスト・石井琢磨が得意のラフマニノフ：ピアノ協奏曲第2番を九響と初協演。指揮者には現田茂夫。
	九響・オーケストラ for キッズ	R9.3.27	共催	3歳から楽しめるフル・オーケストラコンサート。子どもたちに感動体験を伝える。
アマチュア音楽団体への活動支援	◎新・福岡古楽音楽祭2026【2事業】	R8.10.10 ～10.12	主催	民間の実行委員会と共同で行う古楽をテーマとした音楽祭。 ・「室内楽コンサート」開催
	◎西日本オペラ協会公演	R9.1.22	主催	福岡で活躍するオペラの実演家団体、西日本オペラ協会コンセル・ビエールによる「オペラ・ガラコンサート」
	◎フルートフェスティバルin福岡	R8.11.2	共催	アマチュアフルート愛好家たちによる合同演奏会。
	◎ミニこん！ききにこん！ あ・ら・かるとコンサート	R8.11.2	共催	福岡音楽団体連絡会主催による公演。(会場：円形ホール)
	◎福岡県オーケストラ連盟 助成事業【9事業】	通年	共催	福岡県オーケストラ連絡加盟団体を対象に会場費を助成。

II 次代を担う人の育成(48事業)

公 演 名	開催時期	形態	内 容
舞台芸術感動体験事業【2事業】	R8.11.11	主催	県内の小中学生がシンフォニーホールでフル・オーケストラコンサートを体験する事業。2回公演
◎アクロス・クラシックふえすた2026	R8.10.3 ～10.4	主催	クラシック音楽に気軽に親しめるコンサートや楽器展示等、音楽に関する多様なイベントを開催。
◎ふえすたコンサートシリーズA 九響シンフォニックポップ	R8.10.3	主催	クラシックの名曲から、アニメやポップスまで、オーケストラの迫力を体験。0歳から入場できるファミリーコンサート。
◎ふえすたコンサートシリーズB ポップス・ウインドオーケストラ	R8.10.4	主催	奏者を公募オーディションする県民参加型企画。プロ演奏家とシンフォニーホールのステージで共演。「クラシックふえすた」第20回記念公演。
学校キャラバン事業【8事業予定】	通年	主催	県内の小中学校を対象に楽器演奏体験の出前授業を実施。
ACROS FUKUOKA 国際音楽セミナー2026【2事業】	R8.7.22 ～8.1	主催	アンティ・シーララ(ピアノ)、ルーデンス・トゥルク(ヴァイオリン)等を講師に迎え、国際的コンクール等での活躍を目指す演奏家を育成。 ・「アフタヌーンコンサート」開催(講師2人出演)
ヴァイオリンセミナー【2事業】	通年	主催	講師に景山誠治を迎え、プロの音楽家を目指す若者を対象に実施しているセミナー。 ・「スプリングコンサート」開催(修了生発表会)
福岡ジュニアオーケストラ事業【2事業】	通年	主催	福岡ジュニアオーケストラの年間活動を支援。 ・シンフォニーホールでの「定期演奏会」開催
福岡ジュニアオーケストラアカデミー	通年	主催	福岡ジュニアオーケストラでの演奏を目指す初心者を対象としたアカデミー。
ミュージック・キャラバン【12事業予定】	通年	主催	県内公立文化施設等と連携して開催するアウトリーチ型のコンサート。
アーティスト・イン・レジデンス演奏会事業	通年	主催	福岡県の日田彦山線沿線地域に滞在し、地域交流や情報発信を行いながら作曲活動を行うアーティスト・イン・レジデンス事業の中で、作曲した曲のコンサートをアクロス福岡にて実施する。
第93回NHK全国学校音楽コンクール 九州・沖縄ブロックコンクール	R8.8.26 ～8.27	共催	九州の小中学生による合唱コンクール。
◎青少年音楽サポート事業【14事業】	—	共催	県内の高校・大学等の音楽関連クラブ等がシンフォニーホール等で実施する公演の会場費を助成。

Ⅲ 文化芸術を通じた社会包摂の取組の推進(17事業)

公 演 名	開催時期	形態	内 容
劇場って楽しい！！2026	R8.8.1	主催	知的・発達障がい児(者)を対象とした劇場体験プログラム。劇場での体験を通して、鑑賞の仕方を学べる事業。
学校キャラバン特別授業【10事業予定】	通年	主催	特別支援学校等を対象に、参加型の出前授業を実施。
◎音の懸け橋【4事業予定】	通年	主催	(公財)福岡市文化芸術振興財団との共同事業。福岡市内の特別支援学校を対象に、出前授業を実施。
九響マタニティコンサート	R8.4.25	主催	妊娠中の方や子育て中の家族を対象としたコンサート。胎教に良いとされるクラシック音楽を、配慮されたリラックス環境で堪能できる。バリアフリーに対応したコンサート運営。
みんなのコンサート2026	R8.12.1	主催	子ども食堂イベント【福岡クリスマスフェスタ実行委員会】との共同主催。子ども食堂利用者だけでなく、だれでも入場できるファミリーコンサート。

Ⅳ 多様な分野との連携による地域活性化への貢献(※再掲25事業)

公 演 名	開催時期	形態	内 容
再掲 劇場って楽しい！！2026	R8.8.1	主催	知的・発達障がい児(者)を対象とした劇場体験プログラム。劇場での体験を通して、鑑賞の仕方を学べる事業。
再掲 舞台芸術感動体験事業【2事業】	R8.11.11	主催	県内の小中学生がシンフォニーホールでフル・オーケストラコンサートを体感する事業。
再掲 学校キャラバン事業【8事業予定】	通年	主催	県内の小中学校を対象に楽器演奏体験の出前授業を実施。
再掲 学校キャラバン特別授業【10事業予定】	通年	主催	特別支援学校等を対象に、参加型の出前授業を実施。
再掲 ◎音の懸け橋【4事業予定】	通年	主催	(公財)福岡市文化芸術振興財団との共同事業。福岡市内の特別支援学校を対象に、出前授業を実施。

Ⅴ 施設の特性を活かした交流拠点づくり(1事業 ※再掲1事業)

公 演 名	開催時期	形態	内 容
アクロス・オープンステージ事業(仮)	R8.5.6	主催	・福岡シンフォニーホールの舞台やバックヤードを自由に見学できる体験事業。公募にて参加者を募る。 コンサートピアノの弾き比べや、ミニコンサートなども実施。
再掲 ◎ふえすたコンサートシリーズB ポップス・ウインドオーケストラ	R8.10.4	主催	奏者を公募オーディションする県民参加型企画。プロ演奏家とシンフォニーホールのステージで共演。「クラシックふえすた」第20回記念公演。

【令和8年度 情報提供事業の概要】

I 文化芸術の振興と県内外への情報発信

事業	内容	件数
匠ギャラリーの運営	・福岡県の食や工芸品を商品としたカフェやショップを運営。 ・国指定伝統的工芸品常設展示、週替わり企画展示の開催。 ・県知事指定伝統工芸品の月替わり展示。 ・伝統的工芸品を「ひもとき展示」で紹介。	通年
インバウンド観光客に向けた情報発信	・外国人を対象とした伝統的工芸品の体験型企画展の開催やインフルエンサーを活用した情報発信。	4
	・匠ギャラリーホームページの多言語化。 ・匠ギャラリーや各種イベントの多言語リーフレットの作成及び観光案内所等への配架。 ・工芸品制作体験キットの英語版説明書の作成。 ・観光事業所や観光団体が実施するインバウンド向けプロモーションへの協力・連携。	通年
福岡県知事指定特産民工芸品展	・福岡県の伝統工芸品を紹介する展示・販売やワークショップ等の開催。	1

II 次代を担う人の育成

事業	内容	件数
社会科見学	・小中高生を対象とした国指定伝統的工芸品などの見学と制作体験。	通年
夏休みこども手作り体験	・工芸品、アート作家から直接作り方を学べる工芸品制作体験。	1
お正月企画 伝統文化体験	・大人も楽しめる福岡のお正月文化(遊び)の体験や工芸品制作体験。	1
青少年芸術サポート事業	・交流ギャラリー助成金事業を通じた小中高、特別支援学校、大学、専修学校等の文化芸術活動の支援。	7

III 文化芸術を通じた社会包摂の取組の推進

事業	内容	件数
みんなのアート展	・障がいのある人が主役となる絵画展、ステージパフォーマンス、ワークショップ等の実施。	1
見て、ふれて、感じたことを書き出そう！福岡の工芸品(仮)	・聴覚障がい者と健常者を対象とした共同鑑賞事業の実施。	1

Ⅳ 多様な分野との連携による地域活性化への貢献

事業	内容	件数
よってらっしゃい (カルチャートーク)	・主催事業のコンテンツを発信するため、プレイベントとしてトークショー(ライブ)を開催。	1
おでかけナビ	・九州各県の公立文化施設と連携し、県内外で開催される文化芸術公演に関する情報の収集・提供。	通年
コミュニケーション ンエリア企画展	・地域の文化や観光 PR の場として週替わりで企画展を開催。	通年

Ⅴ 施設の特性を活かした交流拠点づくり

事業	内容	件数
メッセージホワイ エ企画展	・文化活動者や県民に、文化芸術活動の発表の場を提供。	通年

2 収支予算書(損益ベース)(令和8年4月1日から令和9年3月31日まで)

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減	備 考
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
① 基本財産運用益				
基本財産運用益	0	0	0	
② 特定資産運用益				
文化振興造成基金積立資産受取利息	2,290,000	2,290,000	0	
③ 事業収益				
施設サービス事業収益				
施設利用料金収益	358,194,000	374,793,000	△ 16,599,000	
付属設備等利用料金収益	86,261,000	85,021,000	1,240,000	
付帯サービス収益	79,354,000	81,153,000	△ 1,799,000	
その他事業収益	4,233,000	4,233,000	0	
文化振興事業収益				
チケット販売収益	7,110,000	30,258,000	△ 23,148,000	
運営受託収益	3,960,000	2,310,000	1,650,000	
その他事業収益	27,050,000	22,350,000	4,700,000	
情報提供事業収益				
広告料収益	240,000	240,000	0	
その他事業収益	2,704,000	3,404,000	△ 700,000	
受託事業収益				
指定管理受託収益	573,011,000	359,957,000	213,054,000	
その他受託収益	5,492,000	0	5,492,000	
④ 受取補助金等				
受取国庫補助金	2,029,000	10,129,000	△ 8,100,000	
協賛金収益	0	5,500,000	△ 5,500,000	
経常収益計	1,151,928,000	981,638,000	170,290,000	
(2) 経常費用				
① 事業費				
施設サービス事業費				
給与手当	45,810,381	44,625,298	1,185,083	
福利厚生費	8,873,083	8,716,174	156,909	
会議費	26,287	26,287	0	
旅費交通費	691,785	691,785	0	
交際費	17,615	17,615	0	
通信運搬費	2,977,654	2,977,654	0	
消耗品費	431,432	431,432	0	
消耗什器備品費	0	4,712,690	△ 4,712,690	
修繕費	126,658,000	53,280,000	73,378,000	
印刷製本費	1,514,130	1,513,859	271	
光熱水料費	75,497,668	77,184,668	△ 1,687,000	
食糧費	27,100	27,100	0	
賃借料	9,991,094	5,943,438	4,047,656	
保険料	557,194	557,194	0	
諸謝金	1,389,417	1,259,337	130,080	
租税公課	21,433,606	15,874,738	5,558,868	
支払負担金	32,854,396	32,852,228	2,168	
委託費	352,245,114	345,569,372	6,675,742	
手数料	358,262	358,533	△ 271	
文化振興事業費				
給与手当	72,688,060	70,807,670	1,880,390	
福利厚生費	14,079,060	13,830,090	248,970	
会議費	251,710	401,710	△ 150,000	
旅費交通費	2,184,050	2,184,050	0	
交際費	27,950	27,950	0	
通信運搬費	2,019,820	2,019,820	0	
消耗品費	2,819,560	3,175,560	△ 356,000	
消耗什器備品費	0	7,477,700	△ 7,477,700	
印刷製本費	442,900	442,470	430	
食糧費	123,000	123,000	0	
賃借料	10,648,020	3,235,540	7,412,480	
保険料	121,396	121,396	0	
諸謝金	14,826,610	7,013,210	7,813,400	
租税公課	4,659,304	3,464,192	1,195,112	
支払負担金	73,086,960	59,745,520	13,341,440	
委託費	91,006,060	119,966,160	△ 28,960,100	
手数料	10,684,460	11,161,890	△ 477,430	
広告宣伝費	1,100,000	3,080,000	△ 1,980,000	
情報提供事業費				
給与手当	21,975,460	21,406,970	568,490	
福利厚生費	4,256,460	4,181,190	75,270	
会議費	12,610	12,610	0	
旅費交通費	363,550	363,550	0	
交際費	8,450	8,450	0	
通信運搬費	461,620	461,620	0	
消耗品費	2,497,960	2,497,960	0	
消耗什器備品費	0	2,260,700	△ 2,260,700	
印刷製本費	303,900	303,770	130	
食糧費	13,000	13,000	0	
賃借料	2,676,820	735,140	1,941,680	
保険料	3,410	3,410	0	

諸謝金	2,376,510	1,808,110	568,400
租税公課	128,590	94,570	34,020
支払負担金	1,487,360	1,486,320	1,040
委託費	34,200,460	12,581,560	21,618,900
手数料	177,860	177,990	△ 130
広告宣伝費	800,000	1,130,000	△ 330,000
広報事業費			
給与手当	21,975,460	21,406,970	568,490
福利厚生費	4,256,460	4,181,190	75,270
会議費	12,610	12,610	0
旅費交通費	270,550	265,550	5,000
交際費	8,450	8,450	0
通信運搬費	217,620	474,620	△ 257,000
消耗品費	356,960	356,960	0
消耗什器備品費	0	2,260,700	△ 2,260,700
印刷製本費	283,900	283,770	130
食糧費	13,000	13,000	0
賃借料	2,640,820	699,140	1,941,680
諸謝金	776,510	714,110	62,400
支払負担金	87,360	86,320	1,040
委託費	10,800,460	13,564,560	△ 2,764,100
手数料	171,860	171,990	△ 130
広告宣伝費	1,892,000	1,030,000	862,000
② 管理費			
一般管理費			
給与手当	6,592,638	6,422,091	170,547
福利厚生費	1,276,938	1,254,357	22,581
会議費	3,783	3,783	0
旅費交通費	13,065	13,065	0
交際費	2,535	2,535	0
通信運搬費	65,286	65,286	0
消耗品費	62,088	62,088	0
消耗什器備品費	0	678,210	△ 678,210
印刷製本費	40,170	40,131	39
食糧費	3,900	3,900	0
賃借料	792,246	209,742	582,504
諸謝金	199,953	181,233	18,720
租税公課	19,500	19,500	0
支払負担金	26,208	25,896	312
委託費	906,438	1,552,668	△ 646,230
手数料	51,558	51,597	△ 39
その他施設管理費			
光熱水料費	2,971,332	2,971,332	0
支払負担金	751,716	751,716	0
委託費	40,517,468	2,353,680	38,163,788
経常費用計	1,151,928,000	1,016,617,000	135,311,000
当期経常増減額	0	△ 34,979,000	34,979,000
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	0	△ 34,979,000	34,979,000
一般正味財産期首残高	36,725,769	71,704,769	△ 34,979,000
一般正味財産期末残高	36,725,769	36,725,769	0
II 指定正味財産増減の部			
① 基本財産運用益			
基本財産運用益	0	0	0
② 特定資産運用益			
文化振興造成基金積立資産受取利息	2,290,000	2,290,000	0
③ 一般正味財産への振替額			
一般正味財産への振替額	2,290,000	2,290,000	0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	558,701,910	558,701,910	0
指定正味財産期末残高	558,701,910	558,701,910	0
III 正味財産期末残高	595,427,679	595,427,679	0